

平成 22 年度

決 算 説 明 資 料

中 頓 別 町

目次

議会費	2
総務費	3
民生費	18
衛生費	26
労働費	29
農林水産業費	29
商工費	36
土木費	39
消防費	41
教育費	42
特別会計	51

()内の数字は当初予算計上額

議会費

〈議会費〉

(担当：議会事務局)

議会の活動に要する経費 **決算額 3,803万円(3,937万円)**

この経費は、主として議員の報酬、定例会や臨時会、各委員会等の会議出席に伴う費用弁償に使われる他、町議会の活動状況を広く町民に周知し、議会に対する理解と認識を深めてもらうための議会広報発行費用、議事録作成にかかる会議録調製委託料、事務局職員の人件費などに充てられました。

■議員に関する経費

- 議員の報酬、議員共済負担金・事務費 2,066万円
- 定例会や臨時会、各委員会、研修や視察などの費用弁償 64万円
- 議員公務災害補償組合負担金 4万円

■職員に関する経費

- 事務局職員の給料、各種手当、共済組合負担金 1,458万円
- 事務局職員の普通旅費として 19万円

■事務的経費

- 議会だより印刷費 105万円
- 議会だより配付料 1万円
- 燃料費、消耗品代 4万円
- 法令集追録代や議会関連雑誌定期購読代 19万円
- 会議録調製委託料 62万円

■その他の経費

- 議長交際費 1万円

【参考】

○宗谷管内町村議会議員年収比較

(平成23年3月31日現在)

町村名	順位	議長 (円)	順位	副議長 (円)	順位	委員長 (円)	順位	議員 (円)
枝幸町	①	4,466,000	①	3,349,500	①	2,950,750	①	2,791,250
浜頓別町	⑥	3,349,500	②	2,950,750	③	2,791,250	③	2,631,750
利尻町	④	3,431,000	⑤	2,774,000	⑤	2,628,000	⑤	2,482,000
利尻富士町	⑤	3,358,000	⑥	2,701,000	⑥	2,555,000	⑥	2,409,000
豊富町	③	3,575,000	④	2,925,000	④	2,762,500	④	2,600,000
猿払村	⑦	3,250,275	⑦	2,647,785	⑦	2,505,090	⑦	2,362,395
礼文町	⑧	3,139,500	⑧	2,525,250	⑧	2,388,750	⑧	2,252,250

幌延町	②	3,572,700	③	2,943,100	②	2,788,200	②	2,633,300
中頓別町	⑨	2,520,000	⑨	2,280,000	⑨	2,220,000	⑨	2,112,000
管内平均		3,406,886		2,788,487		2,621,060		2,474,883

総務費

〈一般管理費〉

(担当：総務課総務グループ)

特別職、一般職員の給与 決算額 3億9,383万円(3億9,837万円)

一般会計で支出する職員の給与は、議会事務局職員は議会費、教育長を含む教育委員会職員は教育費、普通建設事業として支弁された分はそれぞれ事業が組まれたところで支出し、それ以外の職員は総務費で計上しました。

臨時職員の賃金 決算額 918万円(910万円)

臨時的な業務に従事する臨時職員の賃金や社会保険料等として支出しました。

職員の健康診断委託事業 決算額 202万円(246万円)

北海道市町村共済組合の制度を基本に、3つの検診機関で30歳以上のすべての職員を対象に総合健診を実施しました。

儀式典礼事業 決算額 8万円(15万円)

自治記念式、榑原民之助氏慰霊祭等の儀式のために支出しました。

自治記念式は4月1日に開催し、中頓別町の自治の発展に寄与された方々3名を表彰して記念品を贈呈しました。

行政改革推進委員会 決算額 2万円(3万円)

平成17年度に策定した中長期行財政運営計画に基づき、適切に行財政改革を推進していくため、行政改革推進委員会を開催しました。

職員研修事業 決算額 79万円(160万円)

職員の能力開発を図り、町民福祉の向上、まちづくりを推進していくため職員研修に力を入れました。平成22年度は新たに2名が職員となったことから新任研修を受講したほか、中級職員にあつては、法制執務研修や指導能力研修など18科目26名が受講し、研鑽しました。

- ・研修機関への派遣研修 旅費等 76万円(150万円)
- ・研修機関への負担金等 3万円(10万円)

職員の給与計算システム保守委託事業 **決算額 17万円(3万円)**

職員の給与計算システムは、平成22年1月に更新し、保証期間が切れ、保守が開始となった平成23年1月から3月までの費用を支出しました。

また、人事院勧告に伴う給与条例改正を行ったことからシステム改修費136,500円を支出しました。

宗谷町村会負担金事業 **決算額 221万円(221万円)**

宗谷町村会は、宗谷管内のすべて町村で組織し町村に共通する課題の解決や情報の収集と提供、職員研修の共同実施などの事業を行っています。その運営に必要な経費は、町村の規模等で決められ、負担金として支出しました。

町例規システム事業 **決算額 305万円(315万円)**

平成17年度から例規集の冊子を廃止し、Web版例規集のみとしています。

例規の改正等によるデータの更新費用とシステムの使用料・保守料として支出しました。

職員の健康づくり研修会事業 **決算額 0万円(5万円)**

職員の健康増進のため、研修会を開催し、健康に対する意識付け、啓蒙を図る予定でしたが、実施できませんでした。

保護司会事業 **決算額 4万円(4万円)**

保護観察対象者の社会復帰更正と犯罪の予防に取り組んでいる保護司会に補助金を支出しました。

自衛隊事務事業 **決算額 4万円(4万円)**

自衛隊員募集・確保のため自衛官募集推進協議会と連携して円滑な活動を図りました。

各種負担金事業 **決算額 3万円(4万円)**

旭川地方自家用車協会、安全運転管理者協議会等への負担金です。

総務事務事業 **決算額 416万円(540万円)**

上記の事業の他、総務の一般的な事務を行うために支出しました。

〈財政管理費〉

(担当：総務課総務グループ)

財政事務事業 **決算額 446万円(370万円)**

伝票印刷や事務用品の購入などに支出しました。

・わかりやすい予算書の発行

町が行う仕事について、難しい行政の専門用語はなるべく使わないように説明した予

算書を発行しました。

・ **まちな家計簿（わかりやすい決算書）の発行**

平成22年度決算の報告をわかりやすく説明し、町の財政を理解していただく決算書を発行しました。

財務会計システム導入事業

決算額 821万円（1,000万円）

新公会計に対応していくため、財務会計システムを導入しました。このことにより予算要求から執行管理や決算管理までデジタル化され、財務事務の簡素化、効率化など、時代の要求に応えられる体制となりました。今後は新公会計への移行準備、事業評価や総合計画との整合性など、より高度な要求に対応することができるよう努めます。

〈文書広報費〉

（担当：総務課住民グループ）

広報広聴事業

決算額 204.3万円（238万円）

・ **広報誌なかとんべつの発行**

町が抱える様々な問題や課題、町で起こっている出来事などをお知らせしています。年10回の発行。特集などを中心に紙面の見直しを進めながら充実を図りました。

・ **広報なかとんべつ お知らせ版の発行**

月2回、健康相談の日程や行政のお知らせを発行し、住民周知を図りました。

・ **広報広聴活動**

町長と町民のみなさんとが、膝を交えて、活発的な議論ができる地域懇談会「町長がおじゃまします」を町内9ヵ所で実施しました。また、町内の各団体等から、様々な話題、政策提言等、町民のみなさんからの要望があれば、町長が出向いて対話する「町長を出前します」は要望がなく実施されませんでした。

・ **公共施設見学会**

実施できませんでした。

・ **街頭放送の実施**

町内の街頭放送を運営する中頓別町街頭放送協会に加盟し、町からのお知らせなどを随時放送しました。

〈財産管理費〉

（担当：産業建設課建設グループ）

役場庁舎維持管理事業

決算額 579万円（594万円）

庁舎の電気料や、電話料など建物の維持管理に関する経費を計上しました。

町有財産維持管理事業

決算額 780万円（795万円）

庁舎以外の町有財産に係る損害保険料や建物等の維持管理に関する経費を計上しました。

〈企画費〉

(担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ)

総合開発委員会開催事業

決算額 16万円(72万円)

平成19年度からスタートした第6期総合計画の後期実施計画の推進管理や、第7期総合計画(次期計画)の策定に向けた学習会を行うため本委員会を開催し、住民参加、住民と行政のパートナーシップを図ります。

なお、アドバイザーを招へいた会議と専門部会議は開催しませんでした。

- ・委員会の開催(6回開催) 16万円

町内対抗スポーツ大会補助事業

決算額 17万円(48万円)

北緯45度夏まつりのメインイベントとなる「なかとんべつ・町内対抗スポーツフェスティバル大会」が自治会連合会、観光協会、しゃかりき組による実行委員会が設立され、各般準備が進められましたが、大会当日は雨天中止となってしまいました。ただし、大会しおり作成等の諸経費のみに関し実行委員会に対して、その運営費の一部を補助しました。

花とみどりのまちづくり推進事業

決算額 13万円(14万円)

住民参加を基本に美しく快適で潤いのある生活環境をつくるため、花づくりに楽しむ個人や団体の自主的活動を実施しました。

- ・花樽、プランター設置事業 14施設 61基

天北線バス路線維持対策補助金

決算額 1,966万円(1,882万円)

平成元年度にJR天北線が廃止され、代替バスの運行が開始し、これまで関連市町村で連携を取り連絡調整協議会により様々な対策について検討を行い、バス路線を維持するために必要な補助を行いました。

特に、沿線自治体におけるバス利用者数が極めて低い状況から、運行バスのあり方や路線の見直しについて検討を行ってきました。

- ・天北線生活交道路線維持分 518万円
- ・天北線生活交道路線維持分(買支え) 1,164万円
- ・天北線単独路線維持分 284万円

天北線バス定期運賃補助金

決算額 150万円(197万円)

平成元年度にJR天北線が廃止され、代替バスの運行が開始される際に、通学生の通学費用の軽減を図るために定期運賃に対して補助金を交付しています。

平成15年度までは50%補助してきましたが、16年度は40%、17年度以降は30%に削減しています。

補助実績	平成19年度	28人	142万円
	平成20年度	29人	159万円
	平成21年度	30人	144万円

環境審議会開催事業進事業

決算額 3万円(20万円)

頓別川をはじめとする本町の自然環境を保全することが重要視されています。

平成15年から町民主体で協議が進められた「環境基本条例町民プラン」が平成18年に答申され、これを基に議論を重ね平成21年度に「町環境基本条例」が制定されました。

環境の保全と創造を町民が自主的・主体的に進めていくため、条例・計画に基づいた推進に努め、環境保全に関する事項について諮問するため、環境基本法の定めに基づき町環境審議会を推進します。

・環境審議会 3月4日 6名出席 3万円

地球温暖化防止計画策定事業

地球温暖化の最大の原因である過大な二酸化炭素の排出による温室効果ガスに対する緊急対策となるエネルギー消費の削減に向けた取り組みが必要です。町民、事業者、行政等がそれぞれの役割を担いながら連携し、クリーン農業の展開と森林資源の活用を基本に、地球温暖化防止対策を通じ新たなまちづくりを推進します。

国土利用計画届出事業

決算額 6万円(6万円)

国土利用計画法に基づく規制、誘導や土地取引の届出事務に要する経費です。

全国過疎地域自立促進連盟負担金

決算額 4万円(5万円)

過疎地域における産業、経済の開発振興と地域住民の生活、文化の安定向上を図る、全国過疎地域自立促進連盟と連携し、過疎地域対策の充実強化を図っています。

北方領土復帰期成同盟負担金

決算額 1万円(1万円)

我が国固有領土である北方四島の返還を求めめるため、全道の市町村や関係団体で組織する北方領土復帰期成同盟に加盟しています。毎年、この北方領土問題に対する啓発活動に取り組むとともに、北方領土返還要求署名運動推進北海道連絡会議と連携し署名運動を推進しています。

自治会連合会運営補助事業

決算額 251万円(247万円)

自治会の育成指導、相互の連絡調整を図り、住民福祉の増進並びに地域振興発展に寄与することを目的とする自治会連合会に対し補助しました。

また、財団法人自治総合センターからの助成を受けて、町内の小学生・中学生に自然を体感してもらい、その魅力に理解を得てもらい心身の発達への助長を目的に青少年健全育成事業として、「野外活動用備品整備事業」を実施し、テント、タープ、調理台などを購入しました。これにより、町内会子ども会等によるキャンプ体験や野外炊事体験が容易に行えるようになりました。

- ・各自治会に配分 1 3 4 万円
- ・野外活動用備品整備事業補助金 1 1 7 万円

いきいきふるさと推進事業 決算額 4 4 万円 (3 9 万円)

町内に転入された方には、中頓別で生活する上での必要な情報の提供を行っています。

また、子育てに対しては祝い品の贈呈や支援を行い、地域が温かい気持ちで支えあうまちづくりを目指して実施しました。

- ・転入支援事業（生活情報誌の配布） 4 万円
- ・子育て支援事業（出生祝金） 1 2 人 3 6 万円
- 〃（絵本プレゼント） 2 6 人 5 2 冊 4 万円

一流の、中頓別づくり事業 決算額 0 万円 (1 8 7 万円)

第6期総合計画「一流の、中頓別づくり」を効果的に推進するため、本計画に掲げる基本理念を実現される事業で、重要性和緊急性が高い事業について「一流の、中頓別づくり推進補助事業」を平成16年度からスタートしています。

今年度は応募団体（者）が無かったため、執行しませんでした。

そうや自然学校事業 決算額 2 7 8 万円 (3 4 1 万円)

中頓別町やその周辺の自然環境を、そうや自然学校（フィールド・施設）として、生涯学習の推進、環境教育、体験型観光や森林療法などの活動を、地域住民（地域NPO、各団体等）、行政、地域産業、地域外（大学機関、自然体験活動団体等）と協働で進め、その取り組みをつなげ発展させ、地域内外の交流を図ることを目的に各種事業を推進しました。

- ・事業費（下記以外） 4 2 万円
- ・施設維持管理費 1 0 2 万円
- ・臨時職員賃金等 3 2 万円
- ・田舎で働き隊派遣スタッフ費用 1 0 2 万円

□中頓別体験ツアー

この地に住み暮らす人々と過ごす「時の流れ」を感じるプログラムを企画実施し、都市では感じることはできない、心豊かになれる中頓別の過ごし方をという形で提供しました。

- ・なかとんべつ体験観光（カヌーほか） 3 4 人
- ・町内外団体の受入など 1 3 事業 延1 2 5 人

□子どもたちへの体験活動

地域の人々から生活の知恵、自然の知識を子どもが学ぶ機会を作り、単なる体験や知識の伝達だけではない「自然と人の生活」が繋がった自然体験型・生活体験型環境学習を提供しました。

- ・認定こども園自然体験活動 7 回 2 1 7 人
- ・ポレポレ体験隊（児童クラブ） 4 回 8 2 人
- ・中頓別いいところ探し隊（小中学生） 8 回 1 2 2 人

- ・ピンネシリ夏の“森もり”キャンプ（小中学生） 延21人
- ・ピンネシリ冬の“森もり”キャンプ（小中学生） 延46人
- ・小学校活動の支援 42人
- ・町内外の教育委員会、子ども会の活動受入など 13団体 延655人

□森の癒しと森林療法 ～森と暮らす、森で過ごす健康づくり～

森が人に与える医学的効用に着目した研究と実績を進めるNPO法人中頓別森林療法研究会と連携した健康増進のための機会を提供しました。

- ・健康づくり森林ウォーキングの実施 5回 82人
- ・なかとん歩き隊～町民健康ウォーキング～ 32回 190人

□人が共に育つ場づくり

豊かな自然と共に歩んできた中頓別の歴史・文化に触れ、地域の宝を再発見、再発掘し、学びと交流の場を提供しました。

- ・生活職人余生講座「森とも学習塾」 6回 47人
- ・ものづくり講座「クラフト」 2回 22人
- ・大人の学び場づくり「清掃活動」 2回 20人
- ・町内及び町外研修の受入など 参加者数 延1,846名

移住定住促進事業

決算額 45万円（41万円）

平成18年度から北海道移住促進協議会に参画し、移住・定住を促進するための事業に取り組んできています。

これまでは、「おためし暮らし」を中心に取り組み、避暑的な利用を含めた中長期の滞在をされる利用実績も増えてきていることから、今後もこれを継続していきます。また、本格的な二地域居住や長期滞在生活をされる希望者や問い合わせが増していることから、細やかなニーズ調査を行い、1件でも多く滞在してもらえよう現行を見直ししなければなりません。今後は、町内における空き家情報の把握や登録などの充実を図るとともに、中頓別町ならではの特色ある住宅の建設につながる工務店に関する情報提供などにも取り組んでいきます。

- ・移住を進める実行委員会負担金 30万円
- ・北海道移住定住促進協議会会費 5万円
- ・諸会議等出席のための旅費 10万円

移住体験事業実績

年度	おためし暮らし	二地域居住	完全移住
H18	3組6人 延54日	1組2名	
H19	7組12人 延147日		
H20	12組19人 延251日		
H21	8組16人 延475日	1組3人 延228日	1組3人
H22	6組10人 延183日	1組3人 延825日	2組2人
計	36組63人 延1,110日	1組3人 延1,053日	

森林療法推進事業

重点課題のひとつと位置付け、庁内の推進体制を強化し、NPO法人中頓別森林療法研究会などが取り組む事業とも連携しながら、森林療法を推進し、地域にある豊かな森林資源を活かし森林療法に取り組み、町民の健康づくりを推進し、中頓別町らしい地域医療にもつながられる新しいツーリズムにも活かしていくための検討や試行を行ってきました。

平成21年度は、トドマツの葉を蒸して蒸留水を抽出して家庭でも手軽に松の香りが嗅げられるようにするための芳香蒸留水の商品化に向けた試験研究が実施されるなど、次の事業を実施しました。

- ・森林シンポジウム（9月11日開催） 30人
- ・健康づくり森林ウォーキングの実施 5回 82人
- ・なかとん歩き隊～町民健康ウォーキング～ 32回 190人
- ・トドマツ芳香蒸留水の商品化に向けた試験研究

広島県大崎上島町交流推進事業

決算額 77万円（87万円）

平成2年10月に本町の開拓の始祖である榎原民之助氏の出身地である広島県東野町と姉妹町の縁を結び、それぞれの町民をとおして親善、交流を深めるため、毎年町民の相互交流を行ってきました。平成18年から、財政難の事情等により、隔年で交流団の派遣受け入れを行ってきています。

今年、訪問事業と歓迎（受入）事業を一元化した体制で運営するため、観光協会が主体となって、自治会連合会、商工会が連携して実行委員会が設立され、有意義な交流事業が推進されました。

- ・大崎上島町交流事業実行委員会補助金 50万円
- ・随行者等の旅費（諸費含む） 27万円

地域づくり研修会開催事業

決算額 28万円

平成24年度からスタートする第7期総合計画策定に際し、行財政運営計画の計画的かつ効率的な管理を推進する必要があることから、職務遂行や政策形成の能力等の向上を図るため実施しました。

本事業は財団法人北海道市町村振興協会から助成を受けて実施しました。

職員セミナー 11月29日～30日開催 参加者 延39名

地域ブランド発掘調査事業

決算額 500万円

新たなる地域資源を発掘し、地域ブランドデザインとしての生業づくりのきっかけが見えてきました。

現時点では、若者の雇用創出には至っていませんが、地域の食材を活用したメニュー作りにより、地域を元気に、そして、地域に誇りを持てる取り組みを実施しました。

特に、中頓別小学生による地元食材を活かした新メニューづくりと「ちびとん」のうち、地元菓子店の協力によりクッキーの商品化への第一歩となりました。

- ・地域資源調査及び同ワークショップ
- ・他事例調査
- ・商品開発ワークショップ

会議費 12.5万円

「緑の分権改革」調査推進事業 97万円

しゃべり場・緑の分権サロン

11月1日	観光・ツーリズム編	16名出席
11月27日	「酪農の高度化乳製品への挑戦」	17名出席
12月22日	「森の資源を活かす」	13名出席
1月13日	「地域資源を伝えるデザイン」	21名出席
2月24日	「調査報告会 地域資源のブランド化」	20名出席

「緑の分権改革」委託調査事業ワークショップ

中小「中頓別体験隊」応援プロジェクト 全4回 90万円

中小「中頓別体験隊」応援プロジェクト オリジナルレシピ印刷 12万円

「緑の分権改革」地域ブランド創造調査事業

田舎で働き隊応援プロジェクト 3月11日～13日 札幌市 3名 6万円

緑の分権改革調査委託事業

調査委託料 223万円

他事例視察調査 2月12日～14日 宮城県大崎市鳴子地区 4名 47万円

報告書印刷 12.5万円

中頓別しらべ活動事業

決算額 20万円

頓別川をはじめとする豊かな自然の姿を見つめなおすため、環境保全に向けた活動の一環として豊かな自然発見活動と、外来種による被害防止活動の一環とする在来種の保全を目的とした環境教育フォーラムを開催しました。

豊かな自然発見活動～中頓別鍾乳洞 夏編～ 7月13日 11名参加

豊かな自然発見活動～中頓別鍾乳洞 秋編～ 9月25日 12名参加

生物多様性に係る懇話会 3月26日 9名参加

北海道消費者行政活性化事業

決算額 132万円

町民への消費生活行政に対する信頼感の養成、万一に備えた相談機能の宣伝を行うとともに、「消費者教育・啓発の強化」として、講演専用とする機器整備できたことで、効果的な情報伝達の強化・充実を図りました。

また、ひとりでも多くの町民を対象にした大規模講演会と、被害防止に向けた講演内容とターゲットとする世代を絞り込んだミニ講演会を開催することで、町民同士による予防意識の高揚が図られ、消費者教育・啓発及び広報・周知の強化により、地域住民に対する問題意識の喚起と消費者被害の未然防止の効果を発揮しました。

講演会講師謝金（講師：ヨネスケさん） 2月10日 81万円

ミニ講演会講師謝金（講師：貫田桂一さん） 3月10日	42万円
普及啓発説明会用マイク・アンプセット 一式	9万円

企画事務事業 **決算額 173万円（180万円）**

上記の事業の他、企画の一般的な事務を行うために必要な経費です。

・臨時職員賃金	138万円
・普通旅費	30万円
・公用車燃料代	5万円

〈公平委員会費〉

（担当：公平委員会書記長）

公平委員会の経費 **決算額 1万円（2万円）**

この経費は、公平委員3名の報酬に充てられました。

〈生活安全推進費〉

（担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ）

生活安全推進事業 **決算額 84万円（95万円）**

生活安全事業 **21万円（22万円）**

町内における交通事故死ゼロ2,500日を警察、ボランティア団体など関係団体との連携を図り、交通事故撲滅をめざし、交通安全意識と啓蒙活動を展開し、平成22年8月7日を以って目標達成をすることができました。

町内の交通安全活動を推進するため、資材配布と生活安全車による町内広報啓発等を実施しました。

また、北海道交通安全推進委員会と連携し安全運動のための資材提供（チラシ、夜行反射材）を受け街頭啓発、事業所訪問活動で配付しました。

・新1年生交通安全家庭訪問（ランドセルカバー、黄色帽子）	2万円
・交通安全車維持費	6万円
・町内赤色回転灯電気料	2万円
・中頓別町「こどもの安全安心な町」横断幕の掲示	6万円
・交通安全運動に関する諸会議普通旅費	1.5万円
・北海道交通安全推進委員会負担金	3万円

交通指導員事業 **46万円（56万円）**

交通安全対策を推進するため、交通指導員を委嘱して活動を推進しました。平成22年度の出動状況は次のとおりです。

月 日	出動した行事名	出動人員
4/6、4/15	春の交通安全運動 一斉パトライト作戦	13
4/7～4/15	春の交通安全運動 新入学児童街頭指導	14
5/11	中頓別小学校青空教室・街頭指導	2

5/23	春季消防演習	5
6/6	鍾乳洞まつり	6
6/15、6/25	初夏キャンペーン運動 一斉パトライト作戦	10
7/3	聖徳太子典	4
7/16	認定こども園こぐまクラブ街頭啓発	3
7/15、7/26	夏の交通安全運動 一斉パトライト作戦	12
7/16～7/23	夏の交通安全運動 通学児童街頭指導	14
7/22、7/23	中頓別神社祭典	8
8/1	北緯 45 度夏まつり	6
8/16	盆踊り	3
8/20	交通事故慰霊祭	2
9/5	町民マラソン大会	2
9/21、9/30	秋の交通安全運動 一斉パトライト作戦	12
9/21～9/30	秋の交通安全運動 通学児童街頭指導	21
9/29	老人クラブ・農協青年部街頭啓発	4
11/12、11/18	冬の交通安全運動 一斉パトライト作戦	12
1/29	北緯 45 度しばれまつり	6
合 計		159

※通学児童街頭指導は、土日・祝日の場合は出動していない。

地域生活安全協会補助事業

決算額 17万円（17万円）

地域住民の生活を守る活動に取り組んでいる地域生活安全協会に対し、その運営に対し、補助金を交付しました。

〈防災会議費〉

（担当：総務課総務グループ）

防災対策

決算額 1万円（3万円）

町民の生命と財産を守るため防災会議を開催しました。

防災情報通信設備購入事業

繰越明許

決算額 194万円

国（消防庁）は武力テロやミサイル攻撃時の発生時や地震等災害時に瞬時に通報することができる J-Alert（全国瞬時警報システム）をすべての市町村に配備するとして、本町にも通信設備を整備されました。

〈バス転換関連施設維持管理費〉

（担当：産業建設課建設グループ）

天北線バス関連施設維持経費

決算額 349万円（358万円）

バス路線の円滑な運行やバス利用の促進を図るため、バスターミナル等の維持管理にかかる経費です。

〈情報推進費〉

(担当：総務課総務グループ)

中頓別町電子自治体推進事業 **決算額 765万円(790万円)**

国が進める電子政府・電子自治体に対応し、平成16年度から本町も地域情報化、行政情報化を整備し、合理的かつ効果的な行政事務の改善とサービスの向上を図ってきました。

これら電子自治体等の機器、システムの保守や維持に必要な経費を支出しました。

〈社会資本整備総合交付金事業〉

(担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ)

社会資本整備総合交付金事業 **決算額 2,516万円**

平成22年度7月補正予算で計上した事業は次のとおりです。

- ・洪水ハザードマップ作成業務 82.9万円
- ・観光看板整備事業(鍾乳洞) 168万円
- ・生活交通路線バス購入事業補助金(大型2台) 2,265.1万円

〈きめ細かな交付金事業〉

(担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ)

きめ細かな交付金事業 **決算額2,306万円**

平成22年度1月補正予算で計上した事業のうち、実施した事業は次のとおりです。

- ・ピンネシリ温泉施設整備改修工事 95万円
(温泉導水管修理、オイルタンク用通気管、熱交換器・昇温ポンプ修繕)
- ・障害者等住環境整備工事 257.2万円
- ・障害者等住環境整備事業(旧中頓別農業高校職員住宅購入) 1,488.9万円
- ・ピンネシリ温泉デジタルテレビ購入(17台) 88.5万円
- ・自動車学校設備整備事業繰出金 376万円

〈住民生活に光をそそぐ交付金事業〉

(担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ)

住民生活に光をそそぐ交付金事業 **決算額 1,298万円**

平成22年度1月及び3月の補正予算で計上した事業のうち、実施した事業は次のとおりです。

- 町図書室用パソコン環境設定事業 44.1万円
- 学校図書室等整備等事業備品購入事業
 - ・木製書架(9台) 112.3万円
 - ・印刷機(2台) 147万円

□町図書室整備事業備品購入事業	
・木製書架（11台）	179.5万円
□町図書室整備事業備品購入事業	
・デスクトップ型パソコン（20台）	274.4万円
□子ども自然体験教育活動備品購入事業	
・カヌー用トレーラー 1台	41万円
□町民生活に光を注ぐ事業推進基金積立金	500万円

〈税務総務費〉

（担当：総務課住民グループ）

町税賦課計算電算処理委託事業 **決算額 212.6万円（210万円）**

住民税、固定資産税の課税計算、納税通知書作成事務等を民間委託しました。

町税業務 **決算額 84万円（99万円）**

住民の暮らしの充実や環境整備を行うための必要な町財源として町税の賦課徴収を行うための経費で、主に納付書や封筒の印刷や更正申告の還付金等を支出しました。

標準宅地鑑定評価業務 **決算額 88.2万円（88万円）**

3年毎の評価替基準日が平成23年1月1日であることから、国の定める固定資産評価基準に基づく宅地の鑑定評価を実施しました。

〈戸籍住民登録費〉

（担当：総務課住民グループ）

戸籍・戸籍事務事業 **決算額 59.6万円（27万円）**

戸籍法に基づき、戸籍・除籍・改製原戸籍の管理及び発行業務等及び複写機の購入を行いました。

住民事務事業 **決算額 107.8万円（108万円）**

住民情報システムとは、市町村における住民の居住環境の公証、選挙人名簿の登録その他住民に関する事務処理の基礎となるもので、住民に関する記録を正確かつ統一的に行うシステムの保守管理業務を委託しました。

外国人事務事業 **決算額 1万円（1万円）**

外国人登録協議会を通じて道内各町村と連携して業務の向上改善を図りました。

〈統計調査費〉

（担当：総務課住民グループ）

各種統計調査の実施 **決算額 234.9万円（227万円）**

- ・学校基本調査 0.9万円
文部科学省が毎年行う学校の生徒数などの実態を把握する調査を実施しました。
- ・工業統計調査 3万円
経済産業省が毎年行う工業（製造業）の実態を把握する調査を実施しました。
- ・平成22年国勢調査 226.8万円
総務省が5年に一度全国で一斉に行う国勢調査を平成22年10月に実施しました。
- ・世界農林業センサス 3.9万円
我が国の農林業の生産構造、就業構造を明らかにするとともに農山村の実態を総合的に把握し農林業政の企画、立案、推進のための基礎資料の作成を行いました。
- ・経済センサス調査区管理 0.3万円
経済センサス活動調査を円滑に実施するための調査を実施しました。

〈監査委員費〉

(担当：監査委員書記)

監査委員の経費 決算額 82万円(84万円)

この経費は、監査委員2名の報酬や監査業務に伴う費用弁償などに充てられました。

〈選挙管理委員会費〉

(担当：選挙管理委員会事務局)

選挙管理委員会の経費 決算額 64万円(71万円)

この経費は、主に選挙管理委員（4人）の報酬、費用弁償など選挙管理委員会の運営に支出しました。

〈参議院議員選挙費〉

(担当：選挙管理委員会事務局)

参議院議員選挙 決算額 312万円(332万円)

参議院議員通常選挙が平成22年7月11日に執行され、その選挙事務に支出した経費です。

〈北海道知事・道議会議員選挙費〉

(担当：選挙管理委員会事務局)

北海道知事・道議会議員選挙 決算額 140万円

北海道知事・道議会議員選挙が平成23年4月11日に執行されましたが、その経費のうち、準備に要した平成22年度中（平成23年3月31日まで）に支出した経費分です。

〈地域活性化経済危機対策事業〉

(担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ)

地域活性化経済危機対策事業 繰越明許 決算額 5,669万円

※水道特別会計への繰出

- ・松音知水道布設替工事 5,643.5万円
- ・松音知水道布設替事業用地補償 25.6万円

〈きめ細かな臨時交付金事業〉

(担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ)

きめ細かな臨時交付金事業 繰越明許 決算額 9,785万円

平成21年度予算計上し、平成22年度に事業を実施しました。

□森林作業道路網整備事業

- ・町有林路網整備調査設計委託業務 693万円

□橋梁改修事業

- ・神崎3号橋外1調査設計委託業務 425.3万円

□町道等補修事業

- ・町道敏音知温泉2号線歩道設計業務委託 76.7万円

□森林作業道路網整備事業

- ・中頓別1地区森林作業道路網整備事業 1,290.1万円
- ・中頓別2地区森林作業道路網整備事業 1,438.2万円
- ・中頓別3地区森林作業道路網整備事業 1,070.2万円

□公営住宅等整備事業

- ・あかね団地公営住宅屋根塗装工事 124.9万円
- ・あかね拡充団地公営住宅木製手摺塗装塗替工事 110.3万円
- ・小頓別地区公営住宅等整備事業 630万円
- ・西団地公営住宅・敏音知特公賃屋根塗装塗替工事 99.7万円
- ・西団地公営住宅整備工事 54.5万円

□消防吏員待機宿舍水洗化事業

- ・消防吏員待機宿舍水洗化工事(完成払) 302.4万円

□観光施設修繕事業

- ・ピンネシリ温泉洋風便器取替工事 98.7万円
- ・敏音知地区インターネット環境整備工事 249.9万円
- ・ピンネシリコテージ屋根塗装工事 71.4万円
- ・ピンネシリコテージ屋根塗装工事その2 72.5万円
- ・ピンネシリ温泉外壁改修工事 588万円

□橋梁改修事業

- ・町道神崎1号線(神崎3号橋)架替工事 前払 228万円
- ・町道神崎1号線(神崎3号橋)架替工事 完成払 344.3万円
- ・町道8号の沢原野線(二号橋)架替工事 完成払 435.7万円

□町道等補修事業

- ・町道区画線設置工事 43.1万円

・町道舗装補修外一連工事	307.6万円
・町道豊泉3号線法面復旧外一連工事	304.5万円
・町道敏音知温泉2号線歩道改修工事	410.6万円
□社会教育施設改修事業	
・中頓別町民センター自動ドア設置取替工事	67.2万円
・中頓別町体育館改修工事	120.8万円
・中頓別町山村水泳プールろ過機装置連動五方弁取替工事	37.8万円
□歯科診療所改修事業	
・歯科診療所改修工事	88.9万円

民生費

〈社会福祉総務費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

戦没者慰霊祭開催事業

決算額 7万円(9万円)

戦争によって亡くなった中頓別町の戦没者に対し、追悼の意を表し恒久平和への誓いを新たにするため、5月25日に開催し、遺族14名、来賓21名の参列者で行われました。

社会福祉協議会運営補助事業

決算額 658万円(658万円)

社会福祉協議会の運営に係る経費の一部を助成します。主に社会福祉協議会の職員2名の人件費や、中頓別町遺族会に対する助成も含まれています。

民生委員協議会運営補助事業

決算額 20万円(20万円)

民生委員・児童委員で構成する中頓別町民生委員協議会に対し、その運営費の一部を補助します。この補助金は、民生委員協議会活動推進費負担金として全額、道から補助されています。

協議会は、各民生委員の担当地区における生活状態の把握、保護の指導、社会福祉事業施設や関係行政機関との連携等の任務の遂行と円滑な運営を図ることを目的としています。

高額療養費一部負担金貸付事業

決算額 0万円(200万円)

中頓別町国民健康保険の被保険者が高額な療養費を医療機関に支払う際に一時的にその一部負担金を貸付します。

本年度は貸付希望者がいなかったことから、決算額は0円となっております。

社会福祉総務事業

決算額 188万円(196万円)

上記のほか、社会福祉事業に要する諸経費を支出しています。

〈老人福祉費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

敬老会開催事業

決算額 57万円(65万円)

75歳以上の高齢者を対象に9月7日に町民センターで該当者158名、来賓18名の出席により経費の削減を図りながら敬老会を開催しました。

喜寿を迎える方18名には、記念写真の贈呈を行いました。

高齢者等スポーツレクリエーション大会開催事業

決算額 7万円(7万円)

町内に居住する65歳以上のお年寄りや身体障害者及び知的障害者の福祉活動の一環として、軽スポーツ活動を通し、健康増進と融和・親睦を深めるため、8月6日に開催しました。

敏音知温泉コミュニティセンター入浴券交付事業

決算額 79万円(100万円)

町内に住んでいる70歳以上のお年寄りや心身障害者、知的障害者の憩いの場の提供と心身の健康増進のために、入浴券を交付します。平成22年度では延べ3,567人が利用しましたが、平成21年度と比べて延べ510人が減少しております。

入浴料380円のうち、160円(入湯税含む)が自己負担となります。

高齢者乗合自動車無料乗車券交付事業

決算額 92万円(92万円)

町内の75歳以上のお年寄りに町内のバス路線区間に限り無料乗車券を交付します。

この事業は、宗谷バスに1ヶ月当たり77千円で委託して実施しています。

給食サービス事業

決算額 65万円(65万円)

町内に住んでいるお年寄りや、一人暮らしの方を対象に、週3回の夕食を配食します。

偏食防止や安否確認にも役立っています。利用者負担額は500円です。

この事業は、社会福祉協議会に委託して実施しております。

除雪サービス事業

決算額 145万円(145万円)

一人暮らしのお年寄りや、お年寄りだけの世帯で、積雪による外出の不安や、冬期間の生活環境支援のために、除雪に係る労力を確保できないと認める世帯に対して、積雪時に玄関前など住宅周辺の除雪を行いました。

この事業は、社会福祉協議会に委託して実施されています。

生きがい活動支援通所事業

決算額 0万円(5万円)

デイサービスセンター長寿園において、生きがい活動援助員を配置し、利用対象者のニーズ及び身体の状況に応じ、きめ細かなサービスを提供します。

利用対象者は、介護保険での介護認定がでない方が対象となります。

平成22年度は、利用実績がありませんでした。

老人クラブ連合会運営補助事業 **決算額 32万円(32万円)**

老人クラブ連合会の運営に係る経費の一部を助成しています。
このうち、3分の2が道の補助金となっています。

高齢者事業団運営補助事業 **決算額 60万円(60万円)**

高齢者事業団の運営に係る高齢者事業団開拓員活動事業に対し助成しています。
このうち、2分の1が道の補助金となっています。

在宅老人デイサービスセンター等運営事業 **決算額 767万円(767万円)**

在宅老人デイサービスセンターは、在宅の要援護老人等に対し、通所の方法により各種サービスを提供し、生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図るとともに、その家族の身体的、精神的な負担の軽減を図っています。

この事業は、社会福祉法人南宗谷福祉会に委託しています。

平成22年度の利用者は、513人(延べ2,894人)でした。

訪問介護サービスセンター運営事業 **決算額 823万円(840万円)**

在宅者の要介護老人及び障害者等に対して、ホームヘルパーを派遣する事業として、訪問介護サービスセンターの運営を社会福祉法人南宗谷福祉会に委託している経費です。

平成22年度の利用者は、195人(延べ1,098回)でした。

建設資金償還金補助事業 **決算額 726万円(726万円)**

社会福祉法人南宗谷福祉会が平成9年度にデイサービスセンター・在宅介護支援センターを建設した際に借入れた長期借入金の償還金に対する補助をします。

この事業は、社会福祉事業法及び中頓別町社会福祉法人の助成に関する条例に基づくものです。平成29年度までの償還で、平成22年度は元金6,170千円、利息1,086千円の償還となっています。

老人ホーム入所事業 **決算額 9,406千円(9,126万円)**

町内外の老人ホームに入所している方の入所費用を支出しています。入所者本人と扶養義務者は所得に応じた費用負担があります。

平成23年3月末日現在の養護老人ホーム長寿園の入所者は55名で、そのうち、43名が中頓別町の措置者となっています。

老人福祉事業 **決算額 2,645千円(2,886万円)**

後期高齢者医療広域連合医療給付費市町村負担金や心配ごと相談事業委託料(社会福祉協議会)などを計上しています。

療養給付費負担金の実績は、26,298千円で、心配ごと相談事業委託料は、72千円です。

〈国民年金費〉

(担当：総務課住民グループ)

国民年金事務

決算額 6万円(6万円)

法令に基づき、市町村が行わなければならない業務で、照会業務の通信料などを支出しています。

〈障害者福祉費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

障害者自立支援給付事業

決算額 5,476万円(6,250万円)

障害者自立支援法に伴い、障害者の施設入所費やグループホーム等、及び短期入所や児童デイサービスといった障害福祉サービス費等に係る費用分を支出しています。

4月1日現在の入所者数は、

知的障害者施設入所者数	町内施設 9名、	町外施設(4施設)	6名
一体型共同生活事業所	町内施設 2名	町外施設(1施設)	1名
身体障害者施設入所者数		町外施設(2施設)	2名
短期入所利用者数		町外施設	1名
児童デイサービス利用者数		町外施設	2名

日中一時支援事業

決算額 0万円(7万円)

障害者自立支援法に基づき、在宅の障害者(児)が、町が委託した指定事業所で過ごせる事となり、家族への支援等を目的としています。

平成22年度は利用者がいませんでした。

障害者補装具給付事業

決算額 36万円(76万円)

身体に障害がある方の日常生活の向上のために、失われた身体機能を補う用具の交付や修理に対して給付します。

下腿義足1件、車イス1件を給付しております。

自立支援医療(更正医療)給付事業

決算額 29万円(104万円)

体に障害がある方の障害を取り除いたり軽減したりすることで、日常生活が容易になるよう行われる医学的処置、薬剤、治療、材料などの給付を行う医療費の一部を助成します。

人工透析を受けている方などに給付されます。

障害者福祉事業

決算額 5万円(104万円)

上記のほか、障害者福祉事業に要する諸経費を計上しています。

天北厚生園施設整備関係に係る旅費や、南宗谷ひだまりの会負担金を支出しています。

〈災害救助費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

災害救助事業

決算額 0万円(200万円)

暴風、豪雨等の自然災害により死亡された町民の遺族に対する災害弔意金や被災世帯の生活の立て直しのための災害援護資金の貸付を行うための経費です。

平成22年度は、実績がありませんでした。

〈重度心身障害者特別対策費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

重度心身障害者日常生活用具給付事業

決算額 98万円(149万円)

在宅の重度身体障害者に対して、浴槽や特殊寝台など日常生活用具の給付や貸し出しをします。

ストマ用装具20件(対象者8名)、ネブライザー1件、電気式たん吸引器2件、酸素ボンベ運搬車1件、人工喉頭1件を給付しています。

重度心身障害者医療給付事業

決算額 972万円(962万円)

心臓、腎臓、呼吸器、膀胱、直腸、小腸、免疫若しくは肝臓の機能障害である1級から3級の障害に該当している方などの医療費の一部を助成します。

平成22年度3月末現在身体障害者認定者数は、1級30人、2級21人、3級27人となっています。

重度心身障害者事業

決算額58万円(62万円)

上記のほか、重度心身障害者事業に要する諸経費を計上しています。

〈地域福祉対策事業費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

福祉電話設置事業

決算額 2万円(2万円)

一人暮らしのお年寄り(65歳以上)及び重度障害者(1～2級)の方で、電話を設置していない世帯に対し、電話機の設置や基本料金の助成をします。なお、事業は廃止となっており、既得権で1名に助成しています。

福祉ハイヤー助成事業

決算額 203万円(240万円)

重度肢体不自由者等、70歳以上の高齢者(一部制限があります)の通院などが容易になるように、タクシーチケット(1枚500円)を支給します。交付枚数は、重度肢体不自由者等には年間48枚、高齢者には年間24枚で、公共交通機関のない地区に居住している方には48枚交付しています。

自家用車を所有している方の配偶者(70歳以上)にも年間12枚交付します。

年度途中での交付該当者は、年間交付枚数を月割で交付します。

平成22年度は、5,184枚を交付して、3,925枚(75.7%)利用されました。

緊急通報システム事業

決算額 107万円(144万円)

ひとり暮らしのお年寄りや身体の不自由な方などの、増え続ける独居世帯者の安心を確保するために、緊急通報システム端末を貸与しました。

平成22年末緊急通報システム委託台数 安全センター 20戸
健康づくり財団 10戸

〈介護福祉センター費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

介護福祉センター管理事業

決算額 262万円(291万円)

介護福祉センター及び保健センターの維持管理経費に充てました。

〈次世代育成支援対策費〉

(担当：こども館)

次世代育成支援対策事業

決算額 51万円(51万円)

未来を担う子ども達のために、地域に開かれた認定こども園として、積極的にお年寄りとの世代間交流を取り入れ、豊かな人間性を身につけることを目的に、また、町内の子ども達の健やかな成長を見守ったり、小学校・中学校・高校生との交流を持つことにより、社会性や協調性を養うことを目的として進めてきました。

報償費 15万円
需用費 36万円

事業名	交流区分	内容	参加人数
保育所地域活動事業 (世代間交流) (異年齢児交流)	世	花壇作り	26名
	世/異	運動会	130名
	世/異	クリスマス会	127名
	世/異	盆祭り会	90名
	異	製作あそび	48名
	異	畑作り	17名
	世/異	しめなわ作り	32名
	異	こども健康支援	100名
	異	夏休み体験学習会	6名
	異	人形劇観劇	79名
	異	ミニコンサート	61名
異	放課後交流(随時)	13名	

〈介護予防費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

介護予防支援サービス事業

決算額 60万円(60万円)

介護保険法に基づく、介護予防支援サービス（予防ケアプランの作成、サービス事業者との連絡調整等）を行うための経費を支出しました。

〈乳幼児医療費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

乳幼児等医療給付事業

決算額 284万円(468万円)

平成22年度から、満15歳までの子どもたちに対し、医療費の無料化を図り、疾病の早期診断と早期治療を促進し、乳幼児等の保健の向上と福祉の増進、子育て世代家庭の経済的負担の軽減を図りました。

医療費補助対象分（0歳～小学校就学前） 110万円

医療費補助対象外分（小学校～中学校卒業まで） 174万円

〈児童措置費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

児童手当支給事業

決算額 156万円(156万円)

小学校6学年修了時までの児童を養育する方に手当を支給しました。

平成22年度の支給は、2月～3月分の2ヶ月分のみの支給となりました。

子ども手当支給事業

決算額 2,104万円(2,037万円)

平成22年4月から、0歳から中学校修了までの子どもを対象に、1人につき13,000円の子ども手当を支給しました。

児童措置事業

決算額 17万円(21万円)

南宗谷子ども通園センター負担金や図書購入費などの経費です。

〈ひとり親家庭等医療給付費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

ひとり親家庭等医療給付事業

決算額 19万円(79万円)

ひとり親家庭等の健康の保持を図るため、医療費の一部を助成しました。

〈児童福祉施設費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

児童福祉施設事業

決算額 11万円(12万円)

神社公園や小頓別公園の管理委託料を支出しました。

〈保育所費〉

(担当：こども館)

決算額 1,022万円(1,051万円)

保育所は、子どもが生涯にわたる人間形成にとって極めて重要な時期に、その生活時間の大半を過ごす場です。このため、専門性を有する職員が、家庭との信頼関係や連携をとり、子ども達一人ひとりの状況や発達過程を踏まえ、地域の特性を生かした創意工夫のある、保育と教育を一体的に提供してきました。

保育事業	578万円
給食事業	409万円
検診事業	19万円
保育行事事業	16万円

〈こどもセンター費〉

(担当：こども館)

放課後児童対策事業

決算額 10万円(10万円)

小学校に就学している子どもで、保護者が就労等により昼間家庭にいない子を対象とし、放課後の時間帯において、保護者の代わりに家庭的機能の補完をしながら生活や遊びの場を提供し、子どもの健全育成を図ってきました。

- ・誕生会
- ・ポーセン先生と英語であそぼ
- ・父母会活動（懇談会、クリーン作戦、親子レクリエーション）

こどもセンター事業

決算額 262万円(283万円)

こどもセンターは地域児童の心身の健全育成をねらいとして、他機関と連携を図りながら、自然、製作、伝承遊び、お話し会等の事業を実施してきました。

〈幼児クラブ費〉

(担当：こども館)

幼児クラブ事業

決算額 21万円(26万円)

保育に欠けない家庭の3歳児以上から就学前の幼児を対象に、教育・保育機能の総合的な提供を図ってきました。

〈地域子育てセンター費〉

(担当：こども館)

地域子育て支援事業

決算額 30万円(36万円)

地域の子育て支援情報の収集・提供に努め、子育て全般に関する専門的な支援を行う拠点として、地域支援活動を展開してきました。

- ・講演会（年1回）

- ・講座（年3回）
- ・遊びの広場（月3回～6回）
- ・子育てサロン（月1回）
- ・子育て相談事業（随時）
- ・絵本、育児用図書貸出（随時）
- ・保健師との連携（随時）

衛生費

〈予防費〉

（担当：保健福祉課保健福祉グループ）

予防接種事業

決算額 347万円（219万円）

予防接種法に基づき定期の予防接種（ポリオ生ワクチン、BCGワクチン、三種混合ワクチン、風しん麻しん混合ワクチン）を医療機関に委託し、実施しました。

インフルエンザ及び肺炎球菌について高齢者等に接種費用の助成を行いました。

平成22年度より、子宮頸がんワクチン、ビブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用の助成を開始しました。

感染症の予防事業

決算額 6万円（10万円）

感染症法に基づく結核検診や北海道エキノコックス症対策実施要領に基づくエキノコックス検診を行いました。結核検診は5名、エキノコックス症検診は38名の方が受診しました。

特定疾患交通費助成等事業

決算額 2万円（5万円）

特定疾患で通院されている方（非課税世帯のみ対象）への交通費助成を行いました。

助成件数は7件でした。

保健予防事業

決算額 38万円（47万円）

保健予防全体に係わる事業（会議・研修、車両維持等）を推進しています。

〈母子衛生費〉

（担当：保健福祉課保健福祉グループ）

母子健康相談事業・健康教育事業

決算額 5万円（5万円）

妊婦・乳幼児の健康相談、健康教育、家庭訪問を実施し、安心して子どもを生き育てることができるよう支援しました。

妊婦の期間の栄養に関する個別相談を行いました。

また、乳児各期にあわせた離乳食の調理実習、育児サークルの支援を行いました。

母子健診事業 **決算額 155万円(202万円)**

母性と乳幼児の健康の保持増進を図る事を目的に、妊婦の健康診査に対する助成、乳児健康診査、1歳6ヶ月児健診、3歳児健診を年各4回行いました。さらに精密検査が必要な方には費用の一部を助成しました。

母子歯科保健事業 **決算額 10万円(11万円)**

乳幼児の虫歯予防のための歯科医師による健診と歯科衛生士によるフッ素塗布と歯科指導、保健師、栄養士による相談等を年に3回実施しました。延べ75名が参加しました。

〈環境衛生費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

一般廃棄物処理事業 **決算額 9,963万円(1億226万円)**

一般廃棄物処理については、可燃ごみ及び生ごみは、南宗谷衛生施設組合において処理し、リサイクル及び不燃ごみの処理は、町において分別収集をしています。

- ・ 南宗谷衛生施設組合負担金 6,608万円
- ・ ごみ処理事業(収集・埋立処分場管理等)委託料 3,120万円
- ・ その他ごみ袋購入、販売委託料等 235万円

環境衛生事業 **決算額 9万円(18万円)**

住みやすい環境の確保のため、有害駆除(スズメバチ等)や環境美化に要する経費です。

合併処理浄化槽設置整備事業 **決算額 82万円(82万円)**

合併浄化槽整備事業補助金交付要綱に基づき、1件の補助を実施しました。

〈墓地火葬場費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

墓地火葬場維持管理事業 **決算額 134万円(141万円)**

町内に設置されている5ヶ所の墓地と火葬場1ヶ所の維持管理に要する経費を支出しました。

〈診療所費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

歯科診療所施設整備 **決算額 117万円(125万円)**

歯科診療所の施設整備を行い、充実した地域の歯科保健、歯科診療ができるように支援します。22年度はLED可視光線照射器1台と、コントラアングルTi-Ma X1台を購入しました。

〈老人保健費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

健康診査事業

決算額 52万円(89万円)

健康増進法に基づく健康増進事業(骨粗鬆症検診、肝炎ウィルス検診)の他、同法施行規則に定める健康診査及び保健指導(医療保険者が行う特定健診等の対象以外の方)を実施しました。個別の健診結果をもとに健康相談や家庭訪問で生活習慣病予防や改善に向けた支援を行いました。健診結果から自分の健康状態を理解し、主体的に行動を起こすことで、データが改善し予防につながっている人が増えています。

がん検診事業

決算額 296万円(371万円)

各がん健診を実施し、がん患者を早期に発見し、早期治療に結びつくように援助しました。女性特有のがん検診推進事業を実施し、特定の年齢の方に乳がん検診・子宮がん検診のクーポン券等を送付しました。

各がん検診の受診数は、胃がん検診193名、肺がん検診184名、大腸がん検診186名、子宮がん検診73名、乳がん検診106名、前立腺がん検診20名です。

健康教育事業

決算額 98万円(99万円)

各地区等での健康相談や健康教育などを通して、より健康的な生活が継続できるように支援を行いました。また、機能訓練事業などを通して、閉じこもり予防、介護を要する状態になる事を予防するための支援を行いました。

健康増進法に基づく健康教育(40～64歳)は、64回554名、健康増進法に基づく健康相談(40～64歳)は237回476名の参加がありました。

歯科保健事業

決算額 52万円(63万円)

80歳で20本の歯を保つことでさらに豊かな生活ができるといわれています。8020さわやか健診を継続してきたことで、80歳になっても20本以上の歯を保つ8020達成者が増えました。

幼児・児童・生徒にブラッシング指導を行い、虫歯予防・歯周病予防ができるように支援しました。子供達の永久歯のむし歯の本数は大きく減少しています。

歯科保健推進会議では、関係者で学習会を行うなど、関係機関との連携がとれています。

老人保健事業

決算額 89万円(102万円)

健康増進法に基づく事業(会議・研修、車両維持等)を円滑に推進しています。

〈地域保健対策費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

地区組織活動

決算額 65万円(43万円)

各地区から推薦された保健推進員とともに健康づくりを行いました。健康づくり講座・各

地区健康相談などの活動も定着してきています。

1年間の保健事業をのせた健康カレンダーを全戸配布しており、活用されています。

労働費

〈労働諸費〉

(担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ)

緊急雇用創出対策推進事業 **決算額 2,553万円(2,746万円)**

地域における雇用問題に関して、関係機関と連携することにより各種雇用対策の円滑な推進を図ることができました。

○ふるさと雇用再生対策推進事業

- ・地域における保健福祉医療の総合支援サービス事業委託料 731.4万円
- ・地域資源を活かした社会的起業創出事業委託料 824.3万円
- ・森と癒しのヘルスツーリズムプロジェクト推進体制整備委託料 389.1万円

○緊急雇用創出推進事業補助金

- ・中頓別ツーリズム活性化事業 331.6万円
- ・町有林森林環境管理事業 275.1万円

○稚内雇用対策協議会関係事業

- ・業務打ち合わせ普通旅費 稚内6回 0.6万円
- ・公用車燃料代 0.6万円

農林水産業費

〈農業委員会費〉〈農業者年金費〉

(担当：農業委員会事務局)

農業委員会活動促進事業 **決算額 246万円(220万円)**

・農業後継者パートナー対策事業

将来の中頓別町の農業を担う青年女性が主体的に実施するパートナー対策事業に対して、その経費の一部の補助を行いました。

・農地基本台帳の整備

農業者の家族構成や農地等の利用調整、農業委員選挙人名簿の審査など農業委員会業務全般の基本となる台帳を整備しました。

・農地制度実施円滑化事業(新規事業・補正により追加)

農地パトロール時における農地の利用状況調査や、平成21年12月に改正のあった新農地法に関する農業委員及び職員の研修を行いました。

農業者年金業務

決算額 42万円(42万円)

農業者の老後生活の安定を図るため、農業者年金への加入促進、受給者への支給手続き

等の業務を行いました。

〈農業振興費〉

(担当：産業建設課産業グループ)

認定農業者支援事業

決算額 76万円(76万円)

本町農業の中核的な担い手として、経営規模の拡大や集約化、複合化などによって、魅力ある経営実践を目指す意欲ある農業者を「認定農業者」として町長が認定し、各種の支援を行いました。

○農業経営基盤強化資金利子助成事業

法律に基づいて、積極的な経営を展開する認定農業者が借り入れた「農業経営基盤強化資金(通称：L資金)」に対する利子の助成を行いました。

農業用施設維持補修事業

決算額 18万円(18万円)

農業用施設の維持補修により機能回復を図り、農業の経営の維持と安定を図ることを目指し、実施しました。

中頓別町農業体験交流施設(食彩工房「もうもう」、体験農園「オガル」)

管理運営費

決算額 600万円(600万円)

中頓別町農業体験交流施設の施設管理運営費です。

○中頓別町農業体験交流施設の管理の代行のための指定管理料 600万円

- ・管理施設 農産物加工研究施設(食彩工房「もうもう」)
農業体験施設(体験農園「オガル」)
- ・業務の範囲 施設の管理に関する業務、施設の運営に関する業務、施設の経営管理に関する業務
- ・指定期間 平成21年4月1日～平成24年3月31日 3年間

農業振興事業

決算額 2,690万円(2,779万円)

農業行政の推進のため、農用地区域の管理、農業振興地域整備計画の策定・管理、農業担い手対策の推進、農業関係制度資金などの他、地産地消・農業体験の推進を実施しました。

○規模拡大推進資金利子助成金・・・平成22年度からの新規対策事業

J A中頓別町で新たに立ち上げた資金制度のうち、施設の新築・増改築とこれに伴う施設機械・乳牛の導入に係る資金の利子助成を5カ年間に渡り実施する事業です。借入年度は平成22年度から平成24年度までの3カ年が対象となります。平成22年度は3戸の農業経営者が利用いたしました。

○新規就農希望者研修手当助成金・・・平成22年度からの新規対策事業

中頓別町農業担い手育成センターで承認された新規就農希望者への研修手当助成事業です。平成22年度に1名の研修生を受け入れました。

○国営草地開発事業償還金

中頓別町営牧場（弥生・神崎）を造成した事業費の償還金です。最終償還年度は平成25年度です。

中山間地域等直接支払交付金交付事業 決算額 3,255万円

平成21年度で2期対策が終了し、平成22年度から3期対策で継続されました。実施期間は平成22年度から平成26年度までの5ヵ年間です。農業者が現在耕作している農地の面積に応じて、農業者が主体となり組織された中山間地域等直接支払制度推進協議会に対して、国費・道費・町費より交付金を交付いたしました。

〈畜産業費〉

(担当：産業建設課産業グループ)

各種制度資金利子補給事業 決算額 29万円(29万円)

酪農経営において累増した負債により、経営悪化が余儀なくされている農家に対して積極的に農業経営の改善を図ろうとする者が、必要とする資金の借り入れに対し生ずる利子の一部を負担軽減措置として利子補給を行いました。

中頓別町酪農ヘルパー利用組合運営事業 決算額 225万円(285万円)

酪農家の家族の休養・研修・旅行等に完全な休日を取り、経営の安定と生活の向上に資するための事業に対し組合運営費の一部を補助しました。

中頓別町営牧場運営事業 決算額 549万円(580万円)

乳用牛の育成部門における飼養労働力の軽減と適期受胎による生産性の向上を図るため適正な運営を行います。

○町営（弥生・神崎）牧場運営業務委託事業

- ・利用料 1頭1日あたり200円
- ・受託期間 5月下旬から10月中旬

乳牛共進会関連事業 決算額 0万円(11万円)

町内で飼養されている乳用牛（ホルスタイン）の精鋭を一堂に会し、道北ホルスタイン共進会の予選会を行うとともに、農業者相互の親睦を図り、消費者との交流を深め、本町の基幹産業である酪農業への理解を深めることを目的に開催される、中頓別町乳牛共進会の開催経費の一部を負担することとしていましたが、口蹄疫対策のため中止となりました。

中頓別町乳牛共進会で選抜された乳用牛は、中頓別町の代表として道北ホルスタイン共進会へ出品され、審査の結果上位入賞を果たした場合には、宗谷管内の代表として北海道ホルスタインナショナルショーへ出品されることとなり、道北ホルスタイン共進会・北海道ホルスタインナショナルショーへ出場するための経費の一部を負担することとしていましたが、口蹄疫対策のため中止となりました。

地域交流事業（酪農祭開催事業） **決算額 0万円（18万円）**

基幹産業である酪農を通し、地域住民と交流を図り、畜産・酪農に対する理解を求め、地域農業の発展を全町民が共同の力で築くための事業であり、これに対し開催経費の一部を負担することとしていましたが、口蹄疫対策のため自粛いたしました。

中頓別町乳牛検定組合運営事業 **決算額 45万円（45万円）**

乳牛の資質向上と経営の合理化を推進するため乳牛群の能力検定を実施し、生産性の向上等酪農経営の体質強化を図ることを目的として活動している団体の運営費の一部を補助いたしました。

畜産担い手育成総合整備事業 **決算額 2,488万円（2,870万円）**

酪農・畜産業の経営の安定化を図るため、良質な粗飼料の確保と生産性の向上、生産コストの低減を目的とした草地の造成や整備改良及び施設等整備を促進しました。なお、本事業は国、道の補助金及び参加農業者の方の負担金で賄われ、町の負担は事務費に係る経費程度となっています。

循環農業支援センター管理事業 **決算額 285万円（305万円）**

当該施設を利用組合に無償貸付していますが、施設管理上最低限必要な経費（設備機械の維持管理費用や作業車両の定期点検費など）を支出しました。

畜産振興事業 **決算額 26万円（11万円）**

畜産行政の振興を図るため、畜産関係経費の策定及び管理、家畜衛生対策、家畜糞尿等畜産環境対策に要する経費を計上しています。

家畜法定伝染病対策事業 **決算額 3万円**

平成22年度に宮崎県で発生した口蹄疫侵入防止対策として、踏込消毒マット及び消石灰を準備して、役場庁舎内での防疫体制を図りました。

〈有害鳥獣対策費〉

（担当：産業建設課産業グループ）

有害鳥獣対策事業 **決算額 109万円（146万円）**

鳥獣による農業被害・生活環境への被害など人畜へ被害を及ぼす有害鳥獣の対策を行い、野生生物との共存できるような施策を講じました。特に増加傾向にあるエゾシカとアライグマについては、対策の強化を推進しました。

- ・有害鳥獣報償費（親熊1頭、子熊1頭、エゾシカ125頭） 51万円
- ・有害鳥獣等委託料 32万円
- ・有害鳥獣捕獲機材購入費（アライグマ対策費） 22万円
- ・その他（研修旅費、消耗品、燃料費等） 4万円

〈林業振興費〉

(担当：産業建設課産業グループ)

森林保護事業

決算額 22万円(22万円)

町有林の保護及び育成を目的として、幼齢林の野ねずみによる被害の未然防止のため植栽後9年間、野ねずみ駆除剤(リンカS1)をヘリコプターにより空中散布しました。それに先立ち野ねずみの生態調査(6月、8月、10月)を実施しました。

○鳥獣害防止施設等整備事業(流域育成林整備事業区域)

・事業量 78.13ha 20万円(補助金 14万円)

○森林保護事業(絆の森整備事業区域)

・事業量 6.30ha 2万円(補助金 1万円)

森林管理事業

決算額 273万円(270万円)

町有林の森林国営保険料などの町有林の管理経費及び民有林の伐採届、森林火災予防の対策費等に要する経費を支出しました。

民有林公費造林事業

決算額 52万円(100万円)

森林所有者が実施した造林事業(下刈り)に対して、造林補助事業の査定経費の5%を補助しました。

流域育成林整備事業

決算額 992万円(995万円)

森林の有する多面的な機能の持続的な発揮を図る事を目的とし、町有林の育成のために各種事業(下刈り、除伐、間伐、造林)を実施しました。

○下刈事業 藤井・弥生・岩手・寿・神崎地区 事業量 78.13ha

○除伐事業 豊泉分収林地区 事業量 16.18ha

○造林事業 神崎地区(樹種~アエゾ・ヤブダモ) 事業量 4.90ha

・事業費 992万円(補助金713万円)

<用語の解説>

下刈 植栽木周辺の、雑草(笹・草等)の除去を行う。(標準:植栽後9年間)

除伐 支障木・不良木の除去、つる切りを行う。(標準:22年~23年目)

造林 無立木地(原野)の解消を図るため植栽を行う。

絆の森整備事業

決算額 256万円(286万円)

鍾乳洞自然ふれあい公園の森林エリアでは無立木地が目立ち、森林としての機能が低下している状態にあるので、造林・育林等の整備を実施しました。特にこの森林は森と人との共生林(森林公園等の人との係わりが強い森林)に指定されていますので、いろいろな種類の樹木の植栽を予定しています。

○下刈事業 鍾乳洞地区 事業量 6.3ha

○造林事業 鍾乳洞地区(樹種~アエゾ・ヤブダモ) 事業量 3.0ha

- ・事業費 256万円（補助金185万円）

森林整備加速化・林業再生事業 **決算額 609万円（632万円）**

京都議定書に基づく温室効果ガス削減目標の達成に向けては、従来の森林整備水準の約1.6倍の間伐が必要となってきています。その目標達成のため、宗谷管内全体の広域的な計画を樹立し、作業道の路網整備と一体となった間伐事業が求められてきました。本年度に実施した間伐事業は、林道費で計上している中核作業道豊平1号線開設事業と一体となった豊平地区周辺の間伐事業です。なお補助金については定額補助ですが、その定額補助の範囲内で実施いたしました。

○中頓別地区町有林森林整備加速化間伐事業 **事業量 26.04ha**

- ・事業費 609万円（補助金609万円）

21世紀北の森づくり推進事業 **決算額 350万円（543万円）**

森林機能の活性化を図るとともに、森林資源の充実、森林の有する公益的機能の高度発揮を目的に、森林所有者が実施した造林事業に対し補助するもので、造林面積17.57haに補助いたしました。

- ・事業費 350万円（補助金215万円）

森林整備地域活動支援交付金 **決算額 834万円（821万円）**

近年、林業採算性の悪化による林業生産活動の停滞や、森林所有者の高齢化、不在村化等を背景として、適時適切な森林施業の実施に不可欠な森林の現況の把握、歩道の整備等の活動が十分に行われなくなっています。この結果、間伐等の森林施業が十分に行われないう人工林が発生するなど、このままでは国土の保全、水源のかん養、地球温暖化の防止等の森林の有する多面的機能の発揮に支障をきたすおそれがあります。

このような状況を踏まえ、森林の有する多面的機能が十分に発揮されるよう適切な森林整備の推進を図る観点から、森林所有者自らによる計画的かつ一体的な森林施業の実施に向けた施業実施区域の明確化作業や歩道・車道の整備等の地域活動に対して、国費、道費、町費により交付金を交付いたしました。また、平成21年度から追加対策となった森林の被害状況等確認調査は、全額国費負担で交付されました。

○森林整備地域活動支援交付金（地域活動）

- ・事業費 713万円（補助金 535万円）

○森林整備地域活動支援交付金（被害状況等確認）

- ・事業費 121万円（補助金 121万円）

地域森林管理市町村推進事業 **決算額 16万円（25万円）**

森林所有者に森林整備地域活動支援交付金を交付するための制度普及や交付審査等に要する事務経費です。制度普及に向けた広域活動や交付審査を実施しました。

- ・事業費 16万円（補助金 8万円）

森林作業員長期就労促進事業（負担金） 決算額 17万円（20万円）

森林労働者の就労の長期化、安定化を促進し、林業労働力の確保に資するため、森林作業員、事業主、町及び道が一定の掛け金を負担し、就業日数が120日以上ある森林作業員に奨励金を支給するものです。今年度は森林作業員5名に対して実施いたしました。

〈林道費〉

（担当：産業建設課産業グループ）

森林管理道開設事業 決算額 3,145万円（3,501万円）

森林管理道の開設により、森林所有者等による計画的な森林整備や作業の機械化を図り、木材等森林資源の循環的な利用及び林業経営の安定化を促進します。また、森林の有する多面的な機能である水土保全機能の強化や緑豊かな森林空間の利用の促進を目指し実施しました。

○森林管理道弥生線開設事業

- （事業期間 平成18年度～平成27年度予定）
- ・事業費 3,145万円（補助金1,604万円）
- ・事業内容 開設工事 延長＝636m 幅＝4.0m
- ・施工場所 弥生の町営牧場の終点付近から一己内川手前までの区間

森林整備加速化・林業再生事業 決算額 5,011万円（4,120万円）

京都議定書に基づく温室効果ガス削減目標の達成に向けては、従来の森林整備水準の約1.6倍の間伐が必要となってきています。その目標達成のため、宗谷管内全体の広域的な計画を樹立し、間伐事業と一体となった作業道の路網整備が求められてきました。このため、林業振興費で計上している中頓別地区町有林森林整備加速化間伐事業と一体となった作業道の整備です。なお補助金については定額補助ですが、その定額補助の範囲内で実施いたしました。

○中核作業道豊平1号線開設事業

- （事業期間 平成21年度～平成22年度）
- ・事業費 2,763万円（補助金2,763万円）
- ・事業内容 開設工事 延長＝1,300m 幅＝3.0m
- ・施工場所 豊平地区の町有林内

○基幹作業道松音知1号線開設事業

- （事業期間 平成22年度～平成23年度）
- ・事業費 148万円（補助金148万円）
- ・事業内容 測量設計 延長＝640m 幅＝3.0m
- ・施工場所 松音知地区の伊藤組農林所有山林内

○中核作業道坂井線開設事業（補正により追加。平成22年度繰越事業）

- （事業期間 平成22年度～平成23年度）
- ・事業費 2,100万円（補助金2,100万円）

- ・事業内容 開設工事 延長＝800m 幅＝3.0m
- ・施工場所 町道上頓別音威子府線の上頓別よりの民有林内

林道管理事業 決算額 236万円(118万円)

中頓別町で管理している林道施設の維持補修及び管理業務を行いました。また、今年度から森林管理道の事務費の取り扱いが変更となったため、林道管理事業に組み替えて支出いたしました。

《参考》

道代行森林管理道開設事業 実績額 5,939万円(5,000万円)

町職員の技術者不足により早急なる森林管理道開設事業が実施出来ない場合に、道が町村に代わって森林管理道を開設する事業です。町の負担金支出が無いことから、予算計上もありません。

○森林管理道菊水線開設事業

- (事業期間 平成2年度～平成23年度予定)
- ・事業費 5,939万円(町の予算計上無し)
- ・事業内容 開設工事 延長＝434m 幅＝5.0m
- ・施工場所 敏音知～松音知側から入る王子製紙株式会社所有の山林内。

商工費

〈商工総務費〉

(担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ)

中頓別町商工会事業補助 決算額 1,000万円(550万円)

商工業の振興と地域経済基盤の安定をはかることを目的に、その指導的役割を担う中頓別町商工会に対して、経営改善普及事業と経営改善普及事業等の経費の一部を助成しました。

また、プレミアム付き商品券発行事業に対して経費の一部に助成しました。

- ・経営改善普及事業職員設置費等 550万円
- ・まごころ商品券発行事業補助 450万円

中頓別町中小企業振興資金融資事業 決算額 2,004万円(2,002万円)
(融資枠 6,000万円)

町内中小企業の育成振興、経営の合理化を促進するため、金融機関に運用資金を預け中小企業者に対し、有利な融資を行っています。融資額は一企業に運転資金、設備資金に対し700万円以内、木材工業関係は、3,000万円以内です。設備資金の特例として金融機関からの貸付利率に4分の3を乗じて得た利率で計算した額を利子補給します。

〈観光費〉

(担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ)

中頓別町山村交流施設管理運営費 **決算額 863万円(854万円)**

中頓別町山村交流施設（ピンネシリビレッジファームパーク）の施設管理運営費です。

○中頓別町山村交流施設の管理の代行のための指定管理料 863万円

- ・管理施設－ピンネシリビレッジファームパーク〔交流プラザ（道の駅「ピンネシリ」）、オートキャンプ場、ふるさと生活体験館、コテージ〕、砂金掘体験場
- ・業務の範囲－施設の管理に関する業務、施設の運営に関する業務、施設の経営管理に関する業務
- ・指定期間－平成21年4月1日～平成24年3月31日 3年間

中頓別鍾乳洞自然ふれあい公園管理運営費 **決算額 358万円(367万円)**

中頓別鍾乳洞自然ふれあい公園の施設管理運営費です。

○中頓別鍾乳洞自然ふれあい公園の管理の代行のための指定管理料 358万円

- ・管理施設－管理棟、駐車場、指定区域内、外整備施設等
- ・業務の範囲－施設の管理に関する業務、施設の運営に関する業務、施設の経営管理に関する業務
- ・指定期間－平成21年4月1日～平成24年3月31日 3年間

ピンネシリ温泉管理運営費 **決算額 1,489万円(1,176万円)**

ピンネシリ温泉（ホテル「望岳荘」）の施設運営費です。

○中頓別町ピンネシリ温泉の管理の代行のための指定管理料 870万円

- ・管理施設－温泉（入浴）施設、宿泊施設
- ・業務の範囲－施設の管理に関する業務、施設の運営に関する業務、施設の経営管理に関する業務
- ・指定期間－平成21年4月1日～平成24年3月31日 3年間

○導水管維持管理委託料 125万円

○導水管改修工事 404万円

○水質検査料、レジオネラ菌等対策（配管、浴槽等） 6万円

○機械設備等点検委託料 56万円

○機械設備、修繕料 28万円

観光協会運営事業補助 **決算額 509万円(509万円)**

町の観光産業の振興に努めるため、観光宣伝、観光イベント、観光客の誘致等幅広い活動を進めている観光協会の事業に対し助成しました。

人件費、鍾乳洞まつり、ピンネシリ岳山開き、ピンネシリ岳登山道草刈、観光宣伝事業費等

観光イベントの振興 **決算額 87万円(87万円)**

町民と観光客に楽しんでもらう各種イベントに助成しました。

- ・北緯45度夏まつり 18万円
- ・北緯45度しばれまつり 69万円

ライダーハウス開設事業 **決算額 0万円(3万円)**

中頓別町の観光PRやイベントの参加、町民とのふれあいの場を持つことによる地域の活性化を目指すため、ライダー等の無料宿泊所を開設するための経費の一部を実行委員会に毎年度助成しています。

今年度は助成しませんでした。

南宗谷観光連絡推進協議会負担金 **決算額 1万円(1万円)**

南宗谷4町村で構成する連絡推進協議会で構成町が連携及び緊密な情報交換を通して観光の振興と観光資源の整備促進を図るため、観光行政の推進並びに普及宣伝、情報交換を行ってきました。

観光振興事業 **決算額 304万円(48万円)**

道の駅を観光の拠点として、観光客の入りこみ増につなげるため、そうや自然学校などと連携して体験観光の充実を図り、体験観光ガイドを実施しました。

- 体験観光インストラクター業務委託料 265万円
- 各種会議出席(普通旅費) 4万円
- 公用車燃料代 33万円
- 観光看板土地借上料 2万円

ピンネシリふれあい広場管理事業 **決算額 19万円(22万円)**

道の駅、ピンネシリ温泉の周辺にある広場で、建物の維持管理や広場の環境美化に関する業務を天北厚生園に委託し環境整備を行いました。

鍾乳洞ジオツーリズム創出による地域力再生プロジェクト事業 **決算額 702万円(800万円)**

北海道指定天然記念物である鍾乳洞と、その周辺の豊かな自然環境を活かし、地域住民の憩いの場や都市住民との交流の場を整備するために、既存の鍾乳洞や新洞を中心都市や鍾乳洞周辺の自然に親しみ、成り立ちを知り、人間と自然とのジオツーリズム活動を推進します。

この事業は、北海道地域づくり総合交付金(地域再生加速事業)を財源に、平成22年度から2ヵ年事業として取り組んでいます。

- ・鍾乳洞現況調査事業(新洞の現況調査) 241万円
- ・ジオパーク構想検討協議会 39万円
(協議会3回、アドバイザー招へい2回、先進地視察5回)

- ・ガイド養成事業（講習会2回開催） 34万円
- ・ジオパーク構想策定事業（資料収集、地域資源調査） 195万円
- ・鍾乳洞環境保全事業（洞内の環境整備） 193万円

土木費

〈道路維持費〉

（担当：産業建設課建設グループ）

道路台帳整備業務

決算額 49万円（50万円）

道路台帳は、町道を管理するために必要な道路の現況や用地を確認するため、また、道路の維持管理に要する費用として交付税措置がなされるため、図面及び調書を整備するために必要な台帳整備です。

- ・毎年、道路工事などで変更が生じた分を修正しました。

除雪・排雪業務

決算額 2,518万円（2,938万円）

冬期間の快適な生活環境づくりのために、町道や公設駐車場などの除雪・排雪業務を行いました。

道路維持補修事業

決算額 271万円（324万円）

- ・原材料費 未舗装道路の補修に使用する砕石、ダスト、道路側溝トラフやコンクリート管などを購入しました。 24万円（56万円）
- ・町道の草刈りや未舗装道路の砂利敷き、路面整正などを行いました。

247万円（268万円）

トイレ清掃委託業務

決算額 29万円（32万円）

いつも清潔な状態を保つため、上駒駐車場のトイレ清掃を委託しました。

道路照明灯維持事業

決算額 123万円（127万円）

歩行者及び車両通行の夜間の安全性確保のために設置している、道路照明灯143基分（町道20路線）の電気使用料及び維持管理費用を計上しています。

町道法面復旧事業

決算額 226万円

7月下旬と8月中旬の大雨により発生した町道中頓別弥生線法面崩壊等の復旧工事を実施しました。

〈橋梁維持費〉

（担当：産業建設課建設グループ）

橋梁維持費

決算額 0万円（10万円）

橋の維持、補修のために支出します。

〈道路新設改良費〉

(担当：産業建設課建設グループ)

町道の整備事業 **決算額 1億2,883万円(1億5,940万円)**

本年度は、国庫補助事業・起債事業として継続分2路線、新規1路線の整備を行いました。

中頓別弥生線道路改良舗装工事(交付金)

- ・改良工事 長さ=167m 幅=7.5m
- ・施工場所 新熊の沢橋～小金橋までの区間
- ・舗装工事 長さ=275m 幅=7.5m
- ・施工場所 新熊の沢橋前後の区間

町道1条通り線道路整備事業(起債)

- ・改良工事 長さ=144.5m 幅=7.5m
- ・歩道工事 長さ=144.5m 幅=2.5m
- ・照明工事 照明灯1基
- ・施工場所 西団地横(老人専用)～除雪センターまでの区間

町道6丁目線改良工事(交付金・起債)

- ・改良工事 長さ=110m 幅=7.5m
- ・歩道工事 長さ=110m 幅=1.5m(両側)
- ・照明工事 照明灯2基
- ・施工場所 2条通り線(最相さん)～峰友さんまでの区間

〈河川総務費〉

(担当：産業建設課建設グループ)

樋門・樋管管理委託業務 **決算額 58万円(57万円)**

河川の洪水・氾濫等によって災害が発生しないように、稚内土木現業所が管理している2級河川の頓別川、兵知安川にある30ヶ所の樋門・樋管の操作や管理を委託しました。

河川維持事業 **決算額 10万円(21万円)**

普通河川の支障木伐採や河床に堆積した砂利撤去等の維持管理経費を計上しています。

〈旭台公園費〉

(担当：まちづくり推進課まちづくり推進グループ)

旭台公園費 **決算額 30万円(111万円)**

施設の管理運営について旭台自治会に委託して実施しています。

今年度は、安全に公園を利用してもらうために、遊具の補修を行う予定でしたが、実施計画の見直しにより延期しました。

- ・公園管理委託料 18.6万円

・光熱水費

11.8万円

〈住宅管理費〉

(担当：産業建設課建設グループ)

公営住宅などの管理費

決算額 744万円(786万円)

住宅の修繕・維持管理にかかる費用です。

老朽化し空き家となっていた昭和39・40年度あかね団地公営住宅2棟8戸を、防犯性や防災性、将来の建替のため解体しました。

409万円

あかね拡充団地のテレビブースターを地上デジタル対応のブースターに交換しました。

58万円

平成23年3月31日の管理戸数 278戸 ・公営住宅 239戸

〈住宅建設費〉

(担当：産業建設課建設グループ)

住宅建設促進事業

決算額 101万円(270万円)

町民の持ち家住宅を促進するため、中頓別町住宅建設促進条例に基づき、町内に住宅を新築又は増改築する方に対し、経費の一部を助成し、町民の定住促進と生活環境の向上を図っていきます。

耐震改修促進計画策定業務

決算額 268万円

町内の公共建築物、民間建築物の耐震化の現状分析、今後の課題の整理、施策の方向性等の検討を行い、耐震化推進に向けた計画を策定しました。

消防費

〈消防費〉

(担当：南宗谷消防組合中頓別支署)

消防事業

決算額 1億3,522万円(1億4,172万円)

住民の生命、身体、財産を保護するため、火災、救急、救助等の災害に対応するための経費を計上しました。

・救急救命士病院実習

決算額 24.7万円(25.9万円)

救急救命士(5名)が、救急救命処置に関する知識と技術の向上を目的に研修しました。

・北海道消防学校初任教育派遣

決算額 91.1万円(96.7万円)

消防に関する基礎知識と技術を習得するため2名派遣しました。

・救急用備品購入

決算額 15.1万円(17.1万円)

救急現場で適切な対応処置を実施するために購入しました。

- ・消火用ホース購入 **決算額 6.1万円(7.3万円)**
劣化した消火用ホース(50mm)を更新しました。

- ・消防車用冬用タイヤ購入 **決算額 11.9万円(15.4万円)**
劣化したスタッドレスタイヤを更新しました。

・全道火災予防運動

春と秋の火災予防運動を実施。

初日、幼児クラブと職員による消防車両を含め町内パレードを実施しました。

最終、職員による車両実施しました。

・春季運動期間 4月20日～4月30日

・秋季運動期間 10月15日～10月31日

・救急の日(9月9日)

毎年9月9日は「救急の日」です。これに伴い救急の日記念ゲートボール大会を地域生活安全協会と共催しました。

また、応急処置の講習会も開催し、救急業務に対する町民みなさんのご協力とご理解をお願いしました。

・119番の日(11月9日)

毎年11月9日は「119番の日」です。災害発生時における消防への通報訓練を各事業所、商店、町民のみなさんをお願いして訓練を実施しています。又、町民の要請と期待に答えるよう「出動、放水、救助訓練」を実施し万全を尽くしました。

(きめ細やかな交付金事業)

- ・職員用防火衣更新購入 **決算額 133.6万円**
- ・空気呼吸器更新購入 **決算額 68.0万円**
- ・空気ボンベ更新購入 **決算額 40.9万円**
- ・消火用資機材 **決算額 12.6万円**

教育費

〈教育委員会費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

教育委員会事業

決算額 79万円(88万円)

教育委員会開催状況

定例会 12回

学校訪問

学校行事及び授業参観、公開授業参観等の訪問を行いました。

教育委員研修

北海道市町村教育委員研修会、宗谷管内教育委員研修会に出席しました。

〈事務局費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

教育委員会事務局事業 **決算額 6,903万円(7,187万円)**

教育委員会の補助機関として教育委員会事務局が設置され、教育委員会の職務権限に属する事務を具体的に処理するため、事務局職員の給料や事務に要する経費に充てられました。

・人件費 給料、職員手当、共済費、賃金、退職手当組合負担金

6,844万円

・旅費 出張旅費等

27万円

・需用費 事務消耗品費等

32万円

公用車両維持管理事業 **決算額 163万円(230万円)**

通学用スクールバスの運行、校外学習、各種スポーツ大会参加等の運行経費に充てられました。

外国青年招致事業(英語指導助手) **決算額 385万円(377万円)**

こども館、小中学校、地域の英会話サークルなど、語学教育の充実を図るとともに、地域国際交流の推進に努めました。

・英語指導助手賃金

371万円

・旅費 研修旅費

4万円

・負担金補助及び交付金 自治体国際化協会等負担金

10万円

教育研究指定校委託事業 **決算額 10万円(10万円)**

特色ある学校経営の活動について研究し、その結果を集約し研究紀要として各学校へ配布し、教育効果を高めることを目的として各学校に委託しました。

児童生徒校外指導業務委託事業 **決算額 10万円(15万円)**

町内の児童生徒の校外における健全育成を図ることを目的として生徒指導連絡協議会に事業を委託しました。

学校等施設整備事業 **決算額 95万円(95万円)**

学校の消防設備や暖房などを安全に管理するため、管理点検が必要な業務を委託しました。

小学校

81万円

・消防設備点検業務委託	10万円
・自家用電気工作物保安管理及び高圧絶縁診断委託	16万円
・暖房設備点検業務委託	34万円
・危険物選任業務委託	10万円
・地下タンク清掃及び配管微加圧検査委託	6万円
・高架水槽清掃業務委託	5万円
中学校	14万円
・消防設備点検業務委託	4万円
・自家用電気工作物保安管理及び高圧絶縁診断委託	10万円

教職員健康診断事業（人間ドック） **決算額 2万円（9万円）**

教職員の健康の保持増進及び病気の早期発見等に努めました。

各種協議会補助事業 **決算額 102万円（104万円）**

・管内社会教育委員連絡協議会運営補助事業	6万円
・管内体育指導員連絡協議会運営補助事業	5万円
・管内生涯教育推進協議会運営補助事業	3万円
・学校体育連盟運営補助事業	27万円
・スポーツ少年団本部運営補助事業	8万円
・挨拶運動推進会議運営補助事業	8万円
・北緯45度ふれあい広場運営補助事業	17万円
・中頓別町教育研究会運営補助事業	26万円
・道内教育委員会連絡協議会補助事業	2万円

特別支援教育連携協議会委託事業 **決算額 9万円（14万円）**

発達障害を含めた障害のある子どものより良い生活を築くため、関係機関が横断的に連携し、就学前から就学後及び卒業後の就労を含めた継続的、総合的な支援を図るため特別支援教育連携協議会を設立し、事業を展開しています。

〈住宅管理費〉

教職員住宅の管理事業 **決算額 15万円（78万円）**

教職員住宅の維持管理に係る経費に充てられました。

〈学校管理費〉

小学校施設維持管理事業 **決算額 1,119万円（1,055万円）**

児童が快適・安全に学校生活を送れるよう小学校施設を維持管理するための経費に充てられました。

・旅費 学校行事事業	1万円
------------	-----

・需用費 光熱水費、燃料費、消耗品費、印刷製本費、修繕料	6 7 1 万円
・役務費 郵便料、電話料、カーペット清掃料、水質検査料他	4 2 万円
・委託料 校舎管理委託料	3 5 3 万円
・使用料及び賃借料 テレビ視聴料	2 万円
・備品購入費 学校管理備品購入	4 1 万円
・負担金補助及び交付金 学校健康会負担金	9 万円

中学校施設維持管理事業 **決算額 1, 1 9 9 万円 (1, 1 5 8 万円)**

生徒が快適・安全に学校生活を送れるよう中学校施設を維持管理に要する経費に充てられました。

・賃金 学校行事事業	6 万円
・旅費 学校行事事業	6 万円
・需用費 光熱水費、燃料費、消耗品費、印刷製本費、修繕料	4 6 6 万円
・役務費 郵便料、電話料、水質検査料他	3 3 万円
・委託料 校舎管理委託料	3 5 3 万円
体育館改修設計委託料	3 0 5 万円
・使用料及び賃借料 テレビ視聴料	1 万円
・原材料費 製材、グラウンド補修用砂	2 万円
・備品購入費 学校管理備品購入	2 3 万円
・負担金補助及び交付金 学校健康会負担金	4 万円

児童生徒健康診断委託事業 **決算額 6 3 万円 (6 6 万円)**

児童生徒の健康の保持増進と病気の早期発見のため、検診を実施しました。

児童生徒巡回検診事業 **決算額 7 万円 (7 万円)**

児童生徒の健康の保持増進と病気の早期発見のため、検診を実施しました。

教職員巡回健康診断委託事業 **決算額 1 8 万円 (3 4 万円)**

教職員の健康保持増進及び病気の早期発見等のため、健康診断を実施しました。

就学児健康診断委託事業 **決算額 6 万円 (8 万円)**

就学児の状況を把握し、健康上必要な助言や適正な就学についての指導等を実施しました。

特別支援教育支援員の配置 **決算額 1 0 6 万円 (1 0 7 万円)**

平成20年度から新たに特別支援教育制度が創立されたことから、学校の求めに応じ支援員を配置しています。

スキー授業リフト **決算額 23万円(30万円)**

冬期間の体育の円滑な推進を図るため、スキー授業を実施しました。

〈教育振興費〉

小学校教育振興事業 **決算額 110万円(121万円)**

児童に対する教育活動において必要となる教育資材等を購入しました。

・行事、教材、コンピューター消耗品費	60万円
・教師用指導書	2万円
・テスト用紙代	3万円
・総合的な学習の時間消耗品費	11万円
・特別支援教育消耗品費	8万円
・印刷製本費	4万円
・図書購入費	22万円

中学校教育振興事業 **決算額 99万円(139万円)**

生徒に対する教育活動において必要となる教育資材等を購入しました。

・行事、教材、コンピューター消耗品費	73万円
・テスト用紙代	7万円
・総合的な学習の時間消耗品費	4万円
・印刷製本費	2万円
・図書購入費	13万円

就学奨励事業 **決算額 80万円(101万円)**

経済的な理由によって就学困難と認められる児童又は生徒の保護者に対して必要な援助を行いました。

〈社会教育総務費〉

学習機会提供事業 **決算額 38万円(30万円)**

各種教室や社会教育事業の開催、社会参加活動や生涯学習を支援し、町民がまちづくり活動や社会参加、生きがいのある社会生活を送ることができるよう事業を実施しました。

少年への学習機会提供 **18万円**

- ・中頓別いいところ探し隊、こども体験活動等
- ・町内こどもオセロ大会
- ・カルタ教室及びカルタ大会
- ・ふるさと少年教室(餅つき)
- ・学校での総合学習の支援(学校支援地域本部事業と連携)

青年、成人、女性への学習機会提供 **4万円**

- ・成人式

・英会話教室	
・女性学級	
高齢者への学習機会提供	3万円
・高齢者教室「寿大学」事業	
文化の日記念事業消耗品費	8万円

芸術文化鑑賞事業 **決算額 79万円(90万円)**

児童生徒及び町民に優れた芸術鑑賞機会を提供するとともに、文化祭等において、町内文化団体・サークルの育成と発表機会の拡充を図りました。

・児童生徒鑑賞事業(巡回小劇場)	29万円
・町民芸術鑑賞会の開催	40万円
・町民文化祭の開催	10万円

各種会議研修派遣事業 **決算額 11万円(14万円)**

生涯学習やまちづくり団体・サークルが自主的に活動をするため、各種研修会や会議に派遣し、生涯学習活動やまちづくり活動を推進する指導者の養成や団体、サークルの育成を推進しました。

学校支援地域本部事業 **決算額 146万円(176万円)**

生涯学習の振興や地域の子どもの交流を通して、学校と地域との連携体制の構築を図り、多様な形態の教職員支援を可能とし、子どもと向き合う時間の拡充を図るため、学校支援地域本部事業を実施しました。

- ・地域教育協議会の開催
- ・地域コーディネーターの設置
- ・学校支援ボランティア「生活職人」と学校のマッチング
- ・地域コーディネーターの定期的な学校訪問
- ・人材バンクの整備
- ・事業成果報告会の開催

社会教育推進事業 **決算額 34万円(63万円)**

本町の社会教育事業や文化財のあり方について協議検討を行い社会教育事業や生涯学習・まちづくり活動に積極的に参加できる体制を支援しました。

・社会教育委員報酬	5万円
・文化財保護委員報酬	1万円
・社会教育ワゴン維持管理費	28万円

〈町民センター費〉

町民センター運営維持管理事業

決算額 769万円(811万円)

地域住民のコミュニティ活動、社会教育、生涯学習の場の拠点として利活用を図るため、施設の維持管理を実施しました。

・賃金 管理人	446万円
・需用費 燃料費、光熱水費、修繕費、消耗品費	272万円
・役務費 電話料、ピアノ調律料、洗濯代	8万円
・委託料 電気保安管理委託、消防設備点検委託、自動ドア管理委託等	40万円
・使用料及び賃借料 テレビ聴視料等	3万円

〈社会教育施設費〉

社会教育施設運営事業

決算額 349万円(360万円)

郷土資料館・青少年柔剣道場運営事業

決算額 246万円(259万円)

郷土資料館、図書館、柔剣道場の施設の維持管理に要する経費に充てました。

・賃金 図書室臨時職員賃金	148万円
・旅費 研修旅費	4万円
・需用費 青少年会館消耗品費、光熱水費、燃料費	84万円
・役務費 電話料、道立図書館返却送料等	4万円
・委託料 消防用設備点検業務委託	5万円
・負担金補助及び交付金 道図書館振興協議会負担金	1万円

図書室運営事業

決算額 90万円(90万円)

子どもからお年寄りまで利用しやすい生涯学習の拠点としての図書室の充実を図るため、計画的に蔵書を整備しています。

ブックスタート事業

決算額 2万円(4万円)

赤ちゃんと保護者がゆっくり向き合い、心ふれあうひとときを持つきっかけをつくり、絵本を開く楽しい体験とつしよに、絵本などが入ったブックスタート・パックを手渡します。

町で地域に生まれたすべての赤ちゃんと保護者を対象に、乳幼児検診の時に「いきいきふるさと推進事業」と同時に実施しています。

読み聞かせボランティアの構築・支援

決算額 11万円(7万円)

本と楽しく出会い豊かな時間をたくさん過ごして頂くために、毎年、絵本講演会や読み聞かせ研修会を実施しています。

子育てメソッド事業

なかとんべつ子ども読書プランの推進

〈多目的集会施設費〉

多目的集会施設維持管理事業

決算額 69万円(70万円)

小頓別地区の住民活動の場として活用している多目的集会施設の光熱水費など維持管理に

要する経費に充てられました。

・賃金 除雪賃金	1万円
・需用費 燃料費、光熱水費、消耗品費	31万円
・役務費 電話料、し尿汲取料	8万円
・委託料 施設管理委託料、消防用設備点検料等	26万円
・使用料及び賃借料 テレビ聴視料	3万円

〈創作活動施設費〉

中頓別町創作活動施設運営維持管理事業 決算額 39万円(53万円)

中頓別町らしい個性豊かな芸術文化の発展のため、地域や職場、団体やサークルのネットワークづくり、創作活動の拠点として活用しました。

・需用費 光熱水費、燃料費、施設修繕料	36万円
・役務費 電話料	3万円

〈保健体育総務費〉

学習機会提供事業 決算額 47万円(52万円)

町民のスポーツの活性化に向けて、地域スポーツ団体やサークルと連携協力し、各種スポーツ教室・大会を開催しました。

〔教室関係〕 9万円(11万円)

・少年少女スキー教室	1万円
・一般スキー教室	5万円
・歩くスキー教室	3万円

〔大会関係〕 32万円(36万円)

・町民パークゴルフ大会	3万円
・町民ソフトボール大会	2万円
・町民駅伝競技大会	12万円
・町民ソフトミニバレーボール大会	2万円
・宗谷管内ジュニアアルペン競技大会	3万円
・町民スキー大会	7万円
・春の歩くスキー遠足	1万円
・室内ゲートボール大会	2万円

〔スポーツ普及消耗品費〕 6万円(5万円)

団体育成事業 決算額 17万円(24万円)

スポーツ活動を通して、健全な心と体を培うとともに、スポーツ団体の育成を図りました。

- ・各スポーツ少年団活動の支援
- ・各種スポーツ講習会の派遣
- ・学校開放事業の実施

- ・ 体育の日記念事業の開催

スポーツ振興事業 決算額 45万円(69万円)

スポーツ団体サークルが自主的・自発的にスポーツ活動を継続するために、研修や会議などの機会提供を図っています。各種研修会への参加やスポーツ巡回車の維持管理の経費に充てました。

・ 報酬 体育指導員報酬	7万円
・ 旅費 管内スポーツ団体会議	1万円
・ 需用費 スポーツ巡回車維持費	20万円
・ 役務費 スポーツ巡回車自賠責保険等、スポーツ傷害保険等	14万円
・ 公課費 スポーツ巡回車重量税	3万円

施設維持管理費 決算額 67万円(70万円)

学校クラブ活動や町内で活動しているスポーツ団体やサークル、愛好団体の活動の場所として利用されている町民体育館の維持管理に要する経費に充てました。

〈山村プール費〉

山村水泳プール維持管理事業 決算額 129万円(142万円)

学校授業や一般町民の健康体力づくり、児童生徒の健全育成のために開設している山村水泳プールの維持管理に要する経費に充てました。

・ 賃金 監視人、清掃、除雪賃金	39万円
・ 需用費 燃料費、光熱水費	51万円
・ 役務費 電話料等	3万円
・ 委託料 循環器点検、屋根掛け払い	36万円

〈寿野外レクリエーション施設費〉

社会教育施設等管理運営費 決算額 1,806万円(1,737万円)

社会教育施設等（寿スキー場、ふれあいスポーツ広場、テニスコート、パークゴルフ場、ゴルフ練習場、寿公園）の管理は有限会社中頓別振興公社が指定管理者として管理の代行を行いました。

〈学校給食費〉

学校給食事業 決算額 1,000万円(1,008万円)

子ども達に、望ましい食習慣や食に関する自己管理能力を身につけさせるよう食育の推進を図りました。

・ 賃金 臨時調理員賃金	392万円
・ 旅費 出張旅費	6万円
・ 需用費 消耗品費、光熱水費、燃料費、車両維持管理費、被服費等	541万円

・ 役務費 検便検査料、電話料、給食食品微生物検査料、水質検査料等	32万円
・ 委託料 ボイラー保守点検委託料、地下タンク漏洩検査清掃委託料等	25万円
・ 使用料及び賃借料 テレビ視聴料	1万円
・ 備品購入費 消火器	2万円
・ 負担金補助及び交付金 学校給食研究協議会負担金	1万円

〈災害復旧費〉

(担当：産業建設課建設グループ)

公共土木施設災害復旧事業

決算額 362万円

7月下旬と8月中旬の大雨により発生した災害10件の調査設計委託業務を実施しました。

特別会計

国民健康保険事業特別会計

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

国民健康保険事業

決算額 3億322万円 (3億2,872万円)

国民健康保険とは、日本に住む誰もが安心して医療を受けることができる「国民皆保険制度」を維持しており、病気やケガをしたとき、安心して病院にかかることができるように医療費の一部を国と国保加入者のみなさんが負担（保険税）し合う制度です。

総務費 267万円 (270万円)

医療給付事業 1億9,755万円 (2億1,605万円)

疾病時の入院や入院外（外来受診）の医療費を支出しました。

高額療養費 1,979万円 (2,268万円)

1ヵ月の医療費の患者負担分（一部負担金）が高額になった被保険者に対し、限度額を超えた分を高額療養費として、払い戻したものです。

移送費 0円 (2万円)

出産育児一時金（1人 42万円） 84万円 (84万円)

葬祭費（1人 1万円） 5万円 (10万円)

後期高齢者支援金 2,637万円 (2,989万円)

平成20年度から実施された後期高齢者医療制度に対する支援制度です。

前期高齢者納付金 5万円 (10万円)

老人保健拠出金 8万円 (11万円)

介護納付金 1,308万円 (1,245万円)

平成21年度第2号被保険者納付金見込み額を納付しました。

共同事業拠出金 3,399万円 (3,919万円)

保健事業費 165万円 (247万円)

平成20年度より特定健診を実施し、早期発見と予防事業に係る経費を支出しました。

諸支出金（直営診療施設繰出金） 710万円（207万円）

直営診療施設繰出金及び国・道負担金または支払基金交付金のH21年度分返還金を支出しました。

予備費 0万円（5万円）

老人保健事業特別会計

（担当：保健福祉課保健福祉グループ）

老人保健事業 決算額 63万円（37万円）

老人保健事業制度は平成20年4月1日で、後期高齢者医療制度に移行されましたが、移行前の期間における国庫負担金返還金及び一般会計への繰出金を支出しました。

介護保険事業特別会計

（担当：保健福祉課保健福祉グループ）

介護保険事業 決算額 1億8,158万円（1億9,345万円）

介護保険は平成21年4月から新たに第4期がスタートし、それにともない介護保険料の見直しを行いました。被保険者の負担増とならないようこれまでと同額で据え置くこととしました。また、高齢者が住みなれた地域で安心して暮らすことができるよう、様々な地域支援事業を行い、さらに要支援状態、要介護状態となった高齢者への介護保険サービスを推進してきました。

介護保険事業（平成23年3月31日現在）状況は次のとおりです。

総人口	1,993人
40歳以上人口	1,382人
65歳以上人口	705人
第1号被保険者数	679人
要介護（要支援）認定者	147人
居宅介護（介護予防）サービス受給者	741人（延利用者数）
施設介護サービス受給者数	34人

後期高齢者医療事業特別会計

（担当：保健福祉課保健福祉グループ）

後期高齢者医療事業 決算額 2,642万円（2,485万円）

後期高齢者医療事業は、老人保健事業に替わる制度で75歳以上の方と65歳から74歳で一定の障害のある方が加入する医療保険制度です。

全道すべての市町村で構成する後期高齢者医療制度広域連合が設立され事業の運営にあたります。

市町村の役割は、保険料の徴収、各種申請や届出の受付、被保険者証の引渡しなどの業務

を行ないました。

水道事業特別会計

(担当：産業建設課建設グループ)

簡易水道事業 **決算額 1億3,543万円(7,874万円)**

水道は清浄な水道水を供給する生活環境施設として重要な役割を担っています。

本年度につきましては、水道施設等の維持管理を重点に予算計上し、豊富で清浄な水道水を造り、経営の健全化に努めました。

・松音知配水管布設替事業 **5,669万円**

施工延長 φ70 2,465m φ50 2,497m

住民に安定した水道水の供給を行えるよう、老朽化し経年劣化による漏水の危険性があった松音知地区の配水管の布設替工事を実施しました。

下水道事業特別会計

(担当：産業建設課建設グループ)

下水道事業 **決算額 1億64万円(1億130万円)**

下水道事業は、公共水域の水質保全と快適な生活環境づくりとの重要な役割を担っています。

本年度につきましては、下水道施設の維持管理を重点に予算を計上し、よりよい環境づくりとより効率的な施設管理に努めました。

国民健康保険病院事業会計

(担当：国保病院)

医療機械器具等整備事業 **決算額 924万円(907万円)**

住民の皆様により良い医療サービスを提供するため、老朽化、故障した医療機器等を更新及び新規導入しました。

- | | |
|----------------|-----------|
| ・24時間自動血圧装置 | ・心電計 |
| ・血液用冷凍冷蔵庫 | ・4人用テレメータ |
| ・長時間尿動態データレコーダ | ・ギャジベッド |
| ・救急カート | ・床頭台 |
| ・ベッドサイドテーブル | ・カルテワゴン |
| ・ステンレスキャリー | ・診察台 |
| ・防護衣 | ・ガス炊飯器 |
| ・医療施設用掃除機 | ・空気清浄機 |

重油地下タンク埋設配管取替事業 **決算額 298万円**

設置後27年以上経過し、老朽化が著しい重油用地下タンクの埋設配管を取り替えました。

- ・重油地下タンク埋設配管取替工事 一式